

UN High Commissioner for Refugees (UNHCR), UNHCR Position on Returns to Iraq, October 2014, available at: <http://www.refworld.org/docid/544e4b3c4.html>

イラクへの帰還に関する UNHCR の見解

2014年10月

序論

1. 2012年に UNHCR がイラク該当性ガイドライン¹とイラクのパレスチナ難民に関する覚書²を発表して以来、二つの勢力、すなわち一方でイラク治安部隊 (ISF) およびクルド軍 (ペシュメルガ) と、他方ではイラクとシリア両国で活動を展開している「イラクとシャームのイスラム国」(以降 ISIS) と呼ばれる集団およびその系列の武装集団の間で、イラクにおける暴力の急増がみられた³。自爆攻撃、自動車爆弾、砲撃、空爆、処刑などを含む暴力が急増した結果、連日市民が殺害され、負傷している。ISIS 進攻の結果イラク政府は国土のかなりの領域で、全般的なあるいは一部の統治能力を失っていると報告されている。特にアンバール (Al-Anbar)、ニナワ (Nineva)、サラーフディーン (Salah Al-Din)、キルクーク (Kirkuk)、ディヤラー (Diyala) 行政区域ではそれが顕著である。米国の空爆に支援されたイラク治安部隊とクルド軍は、最近いくつかの地域で (クルディスタン地域との境界線に沿った地域が大部分を占める⁴) 統治能力を回復したが、全体の前線は依然として流動的である。2014年1月にアンバール行政区域で再び拡大し、他の行政区域にも広がりを見せている同紛争は、非国際武力紛争⁵とみ

¹ UN High Commissioner for Refugees (UNHCR), UNHCR Eligibility Guidelines for Assessing the International Protection Needs of Asylum-Seekers from Iraq, 31 May 2012, HCR/EG/IRQ/12/03, <http://www.refworld.org/docid/4fc77d522.html>. (国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)、「イラクからの難民申請者の国際保護の必要性に関する該当性ガイドライン」2012年5月31日, HCR/EG/IRQ/12/03) 同文書に述べられている「リスクとなるプロフィール」は依然として有効であるが、最新の出身国情報に合わせて適用されるべきである。

² UNHCR, Update of UNHCR Aide-Memoire of 2006. Protection Considerations for Palestinian refugees in Iraq, July 2012, <http://www.refworld.org/docid/500ebeca2.html>. (UNHCR「2006年の UNHCR 覚書改訂版、イラクにおけるパレスチナ難民に対する保護に関する見解」2012年7月)

³ 自らを「イラクとシャームのイスラム国」(ISIS) (アラビア語で Ad-Dawlah Al-Islāmiyyah fi Al Iraq wa Al-Sham) と宣言する同組織は、以前「イラクのイスラム国」(ISI)、「イラクとレバントのイスラム国」(ISIL)あるいは「イスラム国」(IS)としても知られている。ISIS が現在の紛争では最も顕著な反政府組織であるが、ナクシュバンディー教団 (Naqshbandi Army, JRTN)、1920年代の革命旅団 (Revolutionary Brigades)、アンサール・アル・イスラム (Ansar Al-Islam)、イラク・イスラム軍 (Islamic Army of Iraq)、幾つかのスニ派の部族等、他にも多数の武装集団が活動している。United Nations Office for the Coordination of Humanitarian Affairs (UN OCHA), Humanitarian Needs Overview, 26 September 2014, p. 6, <http://bit.ly/1xoOfCD>; BBC, Iraq crisis: Key players in Sunni rebellion, 1 July 2014, <http://bbc.in/1EoGfQ0>. (国連人道問題調整事務所 (UN OCHA)「人道的ニーズ概要」2014年9月26日、6頁、ならびに BBC「イラク危機：スニ派による革命の鍵となる集団」2014年7月1日)

⁴ イラクのクルディスタン地域はドホーク (Dahuk)、エルビル (Erbil) とスレイマニヤ (Sulaymaniyah) の行政区域からなり、クルディスタン地域政府 (KRG) の統治のもとにある。さらに、KRG はイラク政府との間で争われている幾つかの地域を事実上統治している。例えば、AFP, Jihadist drive allows Iraq Kurds to take disputed areas, 12 June 2014, <http://shar.es/1mefrU>. (AFP通信「ジハーディストの進攻によりイラクのクルド人たちが争われていた地域を獲得」2014年6月12日)を参照。さらに脚注の29も参照。

⁵ 例えば、ICRC, Syria and Iraq: ICRC calls for better compliance with humanitarian law, 26 September 2014, <https://www.icrc.org/en/document/syria-and-iraq-icrc-calls-better-compliance-humanitarian-law>. (赤十字国際委員会「シリアとイラク：赤十字国際委員会が人道法の遵守向上を呼びかける」2014年9月26日) United Nations Assistance Mission for Iraq (UNAMI) / Office of the High Commissioner for Human Rights (OHCHR), Report on the Protection of Civilians in the Non International Armed Conflict in Iraq: 5 June – 5 July 2014, 18 July 2014, <http://www.refworld.org/docid/53ce0f0d4.htm>. (国連イラク支援ミッション (UNAMI)・国連人権高等弁務官事務所 (OHCHR)「イラクの非国際武力紛争における市民の保護に関する報告書：2014年6月5日～7月5日」2014年6月18日)を参照。

なされている。2014年の犠牲者数は2006年から2007年にかけて起きた宗派間の紛争以来最も高い数値となっている⁶。

国際人権法・人道法違反

2. 広範囲に及ぶ人権侵害と人道法違反は、強制的な避難や死傷者数以上に市民の生活に大きな影響を及ぼしている。紛争当事者たちが、国際人道法違反を犯し国際人権法に著しく反する行為を行っていることは裏付けられている。ISISとその関連武装集団による市民に対する組織的かつ広範囲な攻撃は、戦争犯罪と人道に反する罪に値する可能性がある。イラク治安部隊とその関連部隊は、区別の原則、均衡性の原則、攻撃の影響から文民を保護するための措置を講ずる義務に違反するような軍事作戦を展開したという報告があり、これは戦争犯罪に値する可能性がある。さらにイラク治安部隊に所属する軍兵が、誘拐や標的殺人を行っているとも報じられている⁷。

3. ISISと関連武装集団は、明らかに組織的かつ広範囲にわたる深刻な人権侵害を行っていると報告されている。これには市民と民間のインフラを標的とした直接攻撃、処刑、市民を標的とした殺害、誘拐、女性や子どもに対するレイプやその他の形態の性的・身体的暴力、子どもの強制徴集、宗教的文化的な意味を持つ場所の破壊や冒涇、理不尽な破壊、資産の略奪、そして基本的な自由の否定⁸が含まれる。キリスト教徒、ヤジディ教徒、トルクメン人、シャバク人 (Shabak)、カカイ教徒 (Kaka'i)、シバマンダ教徒 (Sabaeen-Mandaeans)、シーア派を含む宗教的・民族的少数派に属する人々にとってはとくに悲惨な状況となっている。なぜなら、ISISと関連武装集団は、「故意にそして組織的にこれらのコミュニティを標的にし、ときに彼らを支配地域において破滅、抑圧、そして浄化することを目的とした深刻な人権侵害を行っている⁹」ためである。

⁶ Iraq Body Count, accessed 22 October 2014, <https://www.iraqbodycount.org/database/>. (イラク・ボディ・カウント、2014年10月22日に情報入手)

⁷ UNAMI, OHCHR, ヒューマンライツウォッチおよびその他の団体による、イラクの武力紛争における市民の保護に関する一連の報告書を参照。

⁸ UNAMI/OHCHR, Report on the Protection of Civilians in Armed Conflict in Iraq: 6 July – 10 September 2014, 2 October 2014, p. i, <http://www.refworld.org/docid/542d3eb64.html>. (UNAMI/OHCHR「イラクの武力紛争における市民の保護に関する報告書：2014年7月6日～2014年9月10日、2014年10月2日」i頁)

⁹ 同上。国連人権副高等弁務官フラビア・パンシエリ氏は、「これらの非人道的で憎むべき攻撃は人間の尊厳と人権に対する深刻で故意の攻撃であり、人道に対する罪に値し得る。」と語った。OHCHR, Human Rights Council convenes a Special Session on abuses committed in Iraq by ISIL, 2 September 2014, <http://shar.es/11hzuk>. (OHCHR「人権理事会がイラクにおいてISILにより行われている虐待について特別会議を招集」2014年9月2日) 国連人権高等弁務官ナビ・ピレイ氏は、「(ISIL)は民族、宗教、あるいは党派の属性に基いて男、女、子どもを計画的に標的としており、支配地域において広範囲にわたる民族的、宗教的浄化を冷酷に実行している。」と語った。UN News Service, Iraqi civilians suffering 'horrific' persecution, ethnic cleansing – UN rights chief, 25 August 2014, <http://www.refworld.org/docid/53fc7eb94.html>. (国連ニュースサービス「国連人権の代表によるとイラクの市民は『恐ろしい』迫害、民族浄化の被害を被っている」2014年8月25日) AI, Ethnic cleansing on a historic scale: The Islamic State's systematic targeting of minorities in northern Iraq, 2 September 2014, MDE 14/011/2014, <http://www.refworld.org/docid/540889bc4.html>. (アムネスティ・インターナショナル「歴史的規模の民族浄化：イラク北部においてISが少数派を組織的に標的としている」2014年9月2日、MDE 14/011/2014)も参照。さらに、OHCHR, Human Rights Council convenes a Special Session on abuses committed in Iraq by ISIL, 2 September 2014, <http://shar.es/11hzuk>. (OHCHR「人権理事会がイラクにおいてISILにより行われている虐待について特別会議を招集」2014年9月2日)も参照。UNAMI/OHCHR, Report on the Protection of Civilians in the Non International Armed Conflict in Iraq: 5 June – 5 July 2014, 18 July 2014, http://www.ohchr.org/Documents/Countries/IQ/UNAMI_OHCHR_POC_Report_FINAL_18July2014A.pdf. (UNAMI/OHCHR「イラクの非国際武力紛争における市民の保護に関する報告書：2014年6月5日～7月5日」2014年7月18日)、AI, Northern Iraq: Civilians in the line of fire, 14 July 2014, <http://www.refworld.org/docid/53c4e1c84.html>. (アムネスティ・インターナショナル「イラク北部：市民が矢面に立つ」2014年7月14日)、Human Rights Watch (HRW), Iraq: ISIS Abducting, Killing, Expelling Minorities, 19 July 2014, <http://www.refworld.org/docid/53cf79964.html>. (ヒューマンライツウォッチ「イラク：ISが少数派を誘拐、殺害、追放」2014年7月19日)、ならびにHRW, Iraq: ISIS Execution Site Located, 27 June 2014, <http://www.refworld.org/docid/53ce1d8b4.html>. (ヒューマンライツウォッチ「イラク：ISISの処刑場所特定」2014年6月27日)も参照。

4. 報告によるとイラク治安部隊とクルド軍に対する ISIS の軍事行動は、それが民間人にもたらす影響を完全に無視して頻繁に行われている。さらに、ISIS は自爆や自動車爆弾を含め、できる限り大多数の市民を殺傷する目的で、市民や民間施設を対象に繰り返しかつ計画的に攻撃してきたと報告されている¹⁰。ISIS はコミュニティ、政治、宗教的指導者、政府職員、警官、専門家の暗殺、誘拐にも責任があるとされている¹¹。ISIS と関連武装集団は戦闘力を失った兵士、警察官、政府職員の処刑への関与も示唆されている¹²。

5. ISIS が支配地域においてシャリア法の特定の解釈を課すことは、女性、宗教的少数派集団の構成員、そしてイスラムの厳格解釈に従わないとみなされる人々の人権への深い懸念を生じさせるものである¹³。ISIS に反対するあるいは反対しているとみなされる個人および/またはイラク治安部隊やクルド軍に協力しているとみなされる個人は殺害、誘拐、理不尽な資産の破壊の標的になるという報告もある¹⁴。

6. 報告によると、女性や十代の少年少女が ISIS によるひどい性的暴力の対象となっていると言われる。紛争下の性暴力国連事務総長特別代表ザイナブ・ハワ・バングーラ氏とイラク国連事務総長特別代表ニコライ・ムラデノフ氏は、ISIS が支配地域において少数派集団の構成員に対して行っている「野蛮な」性的暴力と「残忍なレイプ」を最も強い言葉で非難した¹⁵。さらに、

¹⁰ 「ISIL とその関連武装集団は作戦実施において、市民や公共のインフラを保護することには何の配慮もしておらず、時として市民や公共のものを直接対象にして故意にそのような作戦を展開した。」 UNAMI/OHCHR, Report on the Protection of Civilians in Armed Conflict in Iraq: 6 July – 10 September 2014, 2 October 2014, p. 8, <http://www.refworld.org/docid/542d3eb64.html>. (UNAMI/OHCHR 「イラクの武力紛争における市民の保護に関する報告書：2014年7月6日～9月10日」2014年10月2日) 8頁)

¹¹ 「また、IS と関連武装集団は、コミュニティ、政治的、宗教的指導者、政府職員、教育関係者、ジャーナリストや医療専門家等を標的に組織的な暗殺、誘拐を継続して行った。」 UNAMI/OHCHR, Report on the Protection of Civilians in Armed Conflict in Iraq: 6 July – 10 September 2014, 2 October 2014, p. i, <http://www.refworld.org/docid/542d3eb64.html>. (UNAMI/OHCHR 「イラクの武力紛争における市民の保護に関する報告書：2014年7月6日～9月10日」2014年10月2日) i頁) 例えば BBC, Islamic State militants kill two Iraq journalists, 14 October 2014, <http://bbc.in/1Db75QS>. (BBC 「IS 戦闘員がイラクのジャーナリスト2名を殺害」2014年10月14日)、AFP, IS militants execute four women in northern Iraq, 11 October 2014, <http://bit.ly/1r7KGeX>. (AFP 通信 「IS 戦闘員がイラク北部において女性4名を処刑」2014年10月11日)、UN News Centre, UN rights chief condemns 'brutal' killings by ISIL of women politicians in Iraq, 25 September 2014, <http://bit.ly/1CjGVsN>. (国連ニュースセンター 「国連人権代表がイラクにおける ISIL による女性政治家の『残虐な』殺害を非難」2014年9月25日)、Washington Post, Female human rights lawyer in Mosul shot by firing squad, 25 September 2014, <http://wapo.st/1wMVnsk>. (ワシントンポスト紙 「モスル (Mosul) の女性人権弁護士が銃殺執行隊により射殺」2014年9月25日)も参照。

¹² UNAMI/OHCHR によって記録されたある深刻な事件では、前キャンプスペイサー (Camp Speicher) 軍事基地 (サラフッディーン) の 1,500 人の兵士と治安部隊隊員が捕虜となり、2014年6月12日頃処刑されたという報告がある。IS が犯行声明を出した。UNAMI/OHCHR, Report on the Protection of Civilians in Armed Conflict in Iraq: 6 July – 10 September 2014, 2 October 2014, pp. 5, 6, <http://www.refworld.org/docid/542d3eb64.html>. (UNAMI/OHCHR 「イラクの武力紛争における市民の保護に関する報告書：2014年7月6日～9月10日」2014年10月2日) 5～6頁) また、UN Iraq, UN Envoy Calls for Investigation into Camp Speicher Massacre, 3 September 2014, <http://bit.ly/1uB4pJz>. (国連イラク 「国連特使がキャンプスペイサー虐殺の調査を要請」2014年9月3日)、および HRW, Iraq: Islamic State Executions in Tikrit, 2 September 2014, <http://www.refworld.org/docid/540991ea4.html>. (ヒューマンライツウォッチ 「イラク：ティクリット (Tikrit) における IS による処刑」2014年9月2日)も参照。

¹³ UNAMI/OHCHR, Report on the Protection of Civilians in Armed Conflict in Iraq: 6 July – 10 September 2014, 2 October 2014, pp. 6, 10, 11-17, <http://www.refworld.org/docid/542d3eb64.html>. (UNAMI/OHCHR 「イラクの武力紛争における市民の保護に関する報告書：2014年7月6日～9月10日」2014年10月2日、6、10、11～17頁) UNAMI / OHCHR, Report on the Protection of Civilians in the Non International Armed Conflict in Iraq: 5 June – 5 July 2014, 18 July 2014, pp. 13-14, 18, 20-21, <http://www.refworld.org/docid/53ce0f0d4.htm>. (UNAMI/OHCHR 「イラクの非国際武力紛争における市民の保護に関する報告書：2014年6月5日～7月5日」2014年7月18日、13～14頁、18頁、20～21頁)

¹⁴ UNAMI/OHCHR, Report on the Protection of Civilians in Armed Conflict in Iraq: 6 July – 10 September 2014, 2 October 2014, pp. 5-9, 11, <http://www.refworld.org/docid/542d3eb64.html>. (UNAMI/OHCHR 「イラクの武力紛争における市民の保護に関する報告書：2014年7月6日～9月10日」2014年10月2日、5～9頁、11頁) OHCHR, Press briefing notes on Iraq and Bahrain, 5 September 2014, <http://shar.es/11ALlh>. (OHCHR 「イラクとバーレーンに関するプレスブリーフィングノート」2014年9月5日) さらに Reuters, Islamic State executes eight Sunnis in northern Iraq, 14 September 2014, <http://reut.rs/1tRcR4H>. (ロイター通信 「IS がイラク北部で8人のスンニ派を処刑」2014年9月14日) NBC News, Christians Flee ISIS Rule in Northern Iraq Amid Persecution, 10 September 2014, <http://nbcnews.to/1tKV2rz>. (NBC ニュース 「迫害の中キリスト教徒がイラク北部の IS 支配から避難」2014年9月10日)

¹⁵ UN News Service, 'Barbaric' sexual violence perpetrated by Islamic State militants in Iraq – UN, 13 August 2014, <http://www.refworld.org/docid/53f1bba24.html>. (国連ニュースサービス 「国連：『野蛮な』性暴力がイラクの IS 戦闘員により行われている」2014年8月13日)

ISIS とその関連集団は、特に少数派集団に属する女性を対象にイラクの国内や国外で人身売買および誘拐に関与しているという報告もある¹⁶。

7. 2014年9月1日、国連人権理事会は ISIS と関連武装集団によると思われる国際人権法の違反と侵害を調べるために、イラクへ調査団を派遣することを国連人権高等弁務官事務所に要請する決議を採択した¹⁷。

8. 国連イラク支援ミッション (UNAMI)、国連人権高等弁務官事務所 (OHCHR)、および人権団体は、イラク治安部隊と関連武装勢力による戦争犯罪と人権侵害も記録している。これらには ISIS の進攻に対する報復措置としてのスンニ派被収容者の超法規的処刑¹⁸、治安部隊と関連する武装集団によるスンニ派市民の誘拐および即決の処刑が含まれる¹⁹。さらにイラク治安部隊は民間地域における樽爆弾を含む無差別大砲砲撃や空爆による市民の殺戮に責任があるとされている²⁰。

9. 国の様々な場所 (主にバグダッド) で、目隠しをされ、手錠をかけられ、処刑されたことが明らかな複数のスンニ派男性の死体が発見されたことで、宗派間の報復が復活していると示唆する報告がある²¹。UNAMIによると、バスラ (Basra) 行政区域のスンニ派の人々は脅迫、誘拐や殺害に晒されている²²。

¹⁶ HRW, Iraq: Forced Marriage, Conversion for Yazidis, 12 October 2014, <http://www.hrw.org/news/2014/10/11/iraq-forced-marriage-conversionyazidis>. (ヒューマンライツウォッチ「イラク：強制結婚、ヤジディ教徒の改宗」2014年10月12日)、UNAMI/OHCHR, Report on the Protection of Civilians in Armed Conflict in Iraq: 6 July – 10 September 2014, 2 October 2014, pp. 15-16, <http://www.refworld.org/docid/542d3eb64.html>. (UNAMI/OHCHR「イラクの武力紛争における市民の保護に関する報告書：2014年7月6日～9月10日」2014年10月2日、15～16頁)、AFP, Dozens of Yazidi women 'sold into marriage' by jihadists, 30 August 2014, <http://shar.es/11jhTj>. (AFP通信「多数のヤジディ教徒の女性がジハードイストにより結婚相手として売り払われる」2014年8月30日)、UN OCHA, Iraq IDP Crisis Situation Report No. 8, 16 August – 22 August 2014, 22 August 2014, pp. 2, 4, <http://shar.es/11zKe4>. (UN OCHA「イラク国内避難民危機状況報告書—第8号—2014年8月16日～22日」2014年8月22日、2頁、4頁)

¹⁷ UN Human Rights Council, Human Rights Council requests the Office of the High Commissioner for Human Rights to urgently dispatch a mission to Iraq, 1 September 2014, <http://shar.es/11jGWx>. (国連人権理事会「緊急にイラクにミッションを派遣するよう人権理事会が国連人権高等弁務官事務所に要請」2014年9月1日)

¹⁸ AI, Iraq: Absolute impunity: Militia rule in Iraq, MDE 14/015/2014, 14 October 2014, <http://www.amnesty.org/en/library/info/MDE14/015/2014/en>. (アムネスティ・インターナショナル「完全な刑罰免除：イラクにおける民兵による支配」MDE 14/015/2014、2014年10月14日)、OHCHR, Human Rights Council convenes a Special Session on abuses committed in Iraq by ISIL, 2 September 2014, <http://shar.es/11h9uU>. (OHCHR「イラクにおいて ISILにより行われている虐待について人権理事会が特別会議を招集」2014年9月2日)、AI, Iraq: Testimonies point to dozens of revenge killings of Sunni detainees, 27 June 2014, <http://www.refworld.org/docid/53b2662c4.html>. (アムネスティ・インターナショナル「イラク：証言によると多数のスンニ派被収容者の報復殺害が行われている」2014年6月27日)

¹⁹ AI, Iraq: Absolute impunity: Militia rule in Iraq, MDE 14/015/2014, 14 October 2014, <http://www.amnesty.org/en/library/info/MDE14/015/2014/en>. (アムネスティ・インターナショナル「完全な刑罰免除：イラクにおける民兵による支配」MDE 14/015/2014、2014年10月14日)、UNAMI/OHCHR, Report on the Protection of Civilians in Armed Conflict in Iraq: 6 July – 10 September 2014, 2 October 2014, pp. 19-20, <http://www.refworld.org/docid/542d3eb64.htm>. (UNAMI/OHCHR「イラクの武力紛争における市民の保護に関する報告書：2014年7月6日～9月10日」2014年10月2日、19～20頁)、HRW, Iraq: Pro-Government Militias' Trail of Death, 31 July 2014, <http://www.refworld.org/docid/53df9ad54.html>. (ヒューマンライツウォッチ「イラク：政府派戦闘員の死の跡」2014年7月31日)

²⁰ UNAMI/OHCHR, Report on the Protection of Civilians in Armed Conflict in Iraq: 6 July – 10 September 2014, 2 October 2014, pp. 18-19, <http://www.refworld.org/docid/542d3eb64.html>. (UNAMI/OHCHR「イラクの武力紛争における市民の保護に関する報告書：2014年7月6日～9月10日」2014年10月2日、18～19頁) HRW, Iraq: Survivors Describe Government Airstrike, 14 September 2014, <http://www.refworld.org/docid/5416d1de4.htm>. (ヒューマンライツウォッチ「イラク：生存者が政府の空爆を語る」2014年9月14日)

²¹ 「国の様々な地域で多数の暗殺、殺害が記録された。バグダッド行政区域は特に影響を受け、多数の身元不詳の死体が毎日のように見つかった。被害者の多くは後ろ手に縛られ銃で撃たれ処刑されており、高い割合で死亡以前に拷問された痕跡があった。こうした攻撃の多くは宗派を理由としたものとみられている。」UNAMI/OHCHR, Report on the Protection of Civilians in Armed Conflict in Iraq: 6 July – 10 September 2014, 2 October 2014, pp. 21-22, <http://www.refworld.org/docid/542d3eb64.html>. (UNAMI/OHCHR「イラクの武力紛争における市民の保護に関する報告書：2014年7月6日～9月10日」2014年10月2日、21～22頁) また NPR, Fears Of Sectarian Violence Grow In Baghdad, 6 September 2014, <http://n.pr/1nAQAVm>. (ナショナル・パブリック・ラジオ「バグダッドにおいて宗派間暴力の恐れが高まる」2014年9月6日)、HRW, Iraq: Pro-Government Militias' Trail of Death, 31 July 2014, <http://www.refworld.org/docid/53df9ad54.html>. (ヒューマンライツウォッチ「イラク：政府派戦闘員の死の跡」2014年7月31日)、Reuters, Iraqi security forces find 53 blindfolded bodies south of Baghdad, 9 July 2014, <http://yhoo.it/1pldqQ5>. (ロイター通信「イラクの治安部隊バグダッド南部で目隠しをされた53人の

10. 暴力はイラクの子ども達に深刻な影響を与えている。イラクでは2014年初期から、700人の子ども達が即決の処刑を含めたかたちで殺害されたり不具にされたりしている²³。また、政府が支援あるいは後ろ盾になっている側とISISおよび関連武装集団と共に戦闘に加わっている側を含めた紛争に関わる全ての関係武装集団により、子ども達が徴集される危険性が報告されている²⁴。ISISは子供を自爆目的に使用していると報じられている²⁵。

強制移動と市民の犠牲者

11. 2014年初期に始まった現在の危機以前から、イラクは既に推定130万人という世界最大の国内避難民を抱える国の一つであった。2014年のISISおよび関連する武装集団の進攻とその結果による戦闘、また大規模な人権侵害は、連続的な大規模避難の波を引き起こしている²⁶。2014年1月から10月の初めの間に180万人を超える人々が（その半数近くは子どもである）主にニナワ、アンバール、サラフディーン、ディヤラ、バグダッド、キルクーク、バーベル（Babel）行政区域からイラク全土の1,850以上の異なる地域に避難している²⁷。2014年8月だけで主にニナワから新しく72万人以上の人々が避難している。多くの国内避難民（IDPs）は、ク

死体を発見」2014年7月9日）、UPI, In Iraq, execution-style killings revive civil war horrors, 12 February 2014, <http://upi.com/2667631>. (UPI通信社「イラクでは処刑方式の殺害が内戦の恐怖を蘇らせる」2014年2月12日、Reuters, Execution-style sectarian killings on upswing in Iraq, 27 November 2013, <http://reut.rs/18nvRCy>. (ロイター通信「宗派間の処刑方式殺害がイラクにて増加」2013年11月27日)

²² UNAMI 人権局局长フランチェスコ・モッタ氏によると、「2014年6月23日以来、標的殺害、誘拐の増加により、少なくとも19人のスンニ派市民が殺害され、さらに19人が怪我を負った。事件は報道されなかったものの、複数の情報を基にUNAMIによって確認された。それぞれの事件で、コミュニティは犠牲者たちが信仰以外のなにもものでもない理由により標的になったという意見を明白にしている。当局によると加害者は『未特定の武装グループ』で、同事件に関してはまだ誰も逮捕されていない。」UN in Iraq, SRSG Mladenov warns against increased targeting of Sunni minorities in Basra Governorate, 20 August 2014, <http://bit.ly/1q0P7gt>. (イラクにおける国連「ムラデノフ国連事務総長特別代表はバスラ行政区域において少数派スンニ派が標的となった事件が増えていることに警告」2014年8月20日) さらに、UNAMI/OHCHR, Report on the Protection of Civilians in Armed Conflict in Iraq: 6 July – 10 September 2014, 2 October 2014, p. 24, <http://www.refworld.org/docid/542d3eb64.html>. (UNAMI/OHCHR「イラクの武力紛争における市民の保護に関する報告書：2014年7月6日～9月10日」2014年10月2日、24頁)、Al-Monitor, Southern Iraq Swept By Sectarian Displacement, 23 September 2013, <http://almon.co/fze> (ALモニター「イラク南部宗派強制移動に押し流される」2013年9月23日)、Associated Press, Iraqi Sunnis say sect targeted in southern city, 17 September 2013, <http://yhoo.it/1thXaF>. (AP通信「イラクスンニ派、市の南部において標的にされていると言明」2013年9月17日)も参照。

²³ UN Office of the SRSG for Children and Armed Conflict, Open Debate Security Council Statement, 8 September 2014, <http://shar.es/1a0JxY>. (子どもと武力紛争に関する国連事務総長特別代表「国連安保理公開討論における声明」2014年9月8日)

²⁴ UNAMI/OHCHR, Report on the Protection of Civilians in Armed Conflict in Iraq: 6 July – 10 September 2014, 2 October 2014, pp. 17-18, <http://www.refworld.org/docid/542d3eb64.html>. (UNAMI/OHCHR「イラクの武力紛争における市民の保護に関する報告書：2014年7月6日～9月10日」2014年10月2日、17～18頁)、UN News Service, Grave crimes committed on 'unimaginable scale' in Iraq, UN Human Rights Council told, 1 September 2014, <http://www.refworld.org/docid/5405bb8b4.html>. (国連ニュースサービス「イラクにおいて『想像を絶する規模で』深刻な犯罪が行われている、と国連人権理事会は報告を受ける」2014年9月1日)、UNAMI/OHCHR, Report on the Protection of Civilians in the Non International Armed Conflict in Iraq: 5 June – 5 July 2014, 18 July 2014, p. 20, <http://www.refworld.org/docid/53ce0f0d4.htm>. (UNAMI/OHCHR「イラクの非国際武力紛争における市民の保護に関する報告書：2014年6月5日～7月5日」2014年6月18日、20頁)

²⁵ UN Office of the SRSG for Children and Armed Conflict, Open Debate Security Council Statement, 8 September 2014, <http://shar.es/1a0JxY>. (子どもと武力紛争に関する国連事務総長特別代表「国連安保理公開討論における声明」2014年9月8日)

²⁶ 2014年6月から8月までのあいだに、3つの大きな移動が確認されている。最初の移動はアンバール行政区域東部で2013年12月末日から2014年1月にかけて始まり、都市部における大規模な軍事作戦と爆撃の結果起きた。2つめの移動は2014年6月6日以降に起こり、ISと関連武装集団がイラク第2の都市であるモスルを攻撃した結果であった。数日間で人口の4分の1に値する45万人が市から逃れ、その中には宗教的、民族的少数派の指導者が多数含まれていた。最も最近の移動は8月3日にISと関連武装集団がシンジャール（Sinjar、ニナワ）を攻略した後に起きた。この結果大部分がヤジディ教徒からなる30万人の人々が移動を強いられ、そのほとんどがシリアやイラクのクルディスタン地域へと到達する途中でシンジャール山に逃れた。UN OCHA, Humanitarian Needs Overview, 26 September 2014, p. 5, <http://bit.ly/1xoOfCD>. (UN OCHA、「人道的ニーズ概要」2014年9月26日、5頁) 第4の移動は現在進行形であるという報告があるが、ISと関連武装集団がヒート（Heet）という町とその周辺（アンバール）を2014年10月初旬に攻略し、その結果約18万人の人々が移動を強いられている。報告によると、新しく移動を強いられている人々は、アンバールの他の地域から以前に避難した国内避難民である。UNHCR, Iraq's displacement crisis deepens as civilians flee latest ISIS offensive, 14 October 2014, <http://www.unhcr.org/543d10119.html>. (UNHCR「直近のISISによる攻撃から市民が避難するにつれイラクにおける国内避難の危機が深刻化」2014年10月14日) 本稿執筆時点で、ヒートから4万人の人々が移動を強いられたことは確認できたものの、人道的なアクセスが非常に限られているため総数は明らかではない。(UN OCHA「イラク国内避難民危機状況報告書—第16号—2014年10月11日～17日」2014年10月17日、1頁)

²⁷ この数は最近の強制移動であるアンバール州ヒートの数を除く。人道カントリー・チーム（HCT）は計画上180万という数を使用している。IOM, Displacement Tracking Matrix, Report I of Round VII, 20 October 2014, p. 1, <http://shar.es/1mQDKl>. (国際移住機関（IOM）「強制移動追跡マトリックス—第7回の第1報告書」2014年10月20日、1頁)

クルディスタン地域やニナワの他の場所を含むイラク北部あるいはアンバール内に避難している。クルディスタン地域は 85 万人以上の国内難民を受け入れており²⁸、そのうちの大多数（55 万人近く）はドホーク（Dahuk）行政区域に避難を求めている²⁹。加えて、クルディスタン地域は前回の暴力の波を理由に 2003 年から到着した 20 万人以上の国内避難民と 20 万人以上のシリア難民を受け入れている³⁰。避難はバグダッド内部において、また同市へと、そして主にナジャフ（Najef）、カルバラ（Kerbala）、ワーシト（Wassit）、バーベルといったバグダッド南部の行政区域へと継続して起きている³¹。2014 年に移動を余儀なくされた国内避難民のうち、それ以前のイラン国内での紛争で既に避難をしていた者も多数いるとみられている³²。紛争が移動するにつれ、ニナワ行政区域の抗争の理由となっている地域やクルディスタン地域との境界線の近辺に位置する国内避難民キャンプ³³といった場所から、多くの人々が複数回にわたって移動を強

²⁸ この数は、KRG からの支援を受けている論争中の境界地域を含む。これらには、ニナワ行政区域のアクレ（Akre）とシカン（Al-Shikan）、さらにディヤラ行政区域のキフリ（Kifri）とカナキーン（Khanaqin）が含まれる。IOM, Displacement Tracking Matrix, Report I of Round VII, 20 October 2014, p. 3, <http://shar.es/1mQDKI>. (IOM「強制移動追跡マトリックス第7回の第1報告書」2014年10月20日、3頁) 計画省、KRGと国連との間で協働して作成されたクルディスタン地域の国内避難民危機のための即時対応計画（Immediate Response Plan, IRP）は、クルディスタン地域で86万2千人の国内避難民がいると査定している。ドホークが最も多くの国内避難民を抱えており（63%）、続いてエルビル（20%）、そしてスレイマニヤ（16%）となっている。Ministry of Planning - KRG / UN, Immediate Response Plan (IRP) for the IDPs crisis in the KR-I: 15 Sept - 15 Nov 2014, 28 September 2014, p. 2, <http://shar.es/1molzo>. (計画省-KRG-国連「KR-Iにおける国内避難民危機に対する即時対応計画（IRP）：2014年9月15日～11月15日」2014年9月28日、2頁)

²⁹ 総数はアクレとシカン（ニナワ行政区域）、ならびにキフリとカナキーン（ディヤラ行政区域）を含む。これらの地域に関しては、イラク中央政府とクルディスタン地域政府（KRG）の両者が権利を主張しており、その地位に関しては 2005 年のイラク憲法第 140 条に基づいて解決されることとなっていた。これらの地域は事実上クルディスタン地域政府（KRG）の支配下にあり、国内避難民に対しても KRG がサービスや支援を行っている。IOM, Displacement Tracking Matrix, Report III of Round VI, October 2014, p. 3, <http://iomiraq.net/file/1270/download?token=aH5gss0> (IOM「強制移動追跡マトリックス第7回の第1報告書」2014年10月20日、3頁)、Joint Analysis and Policy Unit (JAPU), Diyala Governorate Profile, October 2014, p. 1, <http://www.jauiraq.org/gp/print/GP-Diyala.asp>. (合同分析・政策ユニット (JAPU)「ディヤラ行政区域プロフィール」2014年10月、1頁)、JAPU, Ninewa Governorate Profile, October 2014, p. 1, <http://www.jauiraq.org/gp/print/GPNinewa.asp>. (JAPU「ニナワ行政区域プロフィール」2014年10月、1頁)

³⁰ 最近トルコとクルディスタン地域との国境が開き、シリアの町コバニ（Kobane）から何千人もの人々が新しく到着したことにより、シリア難民の数は増加すると見込まれる。2014年10月20日までに1万人以上のシリア人がトルコを越えてイラクのクルディスタン地域に到着している。(UNHCR2014年10月22日) また、UNHCR, Syria Regional Refugee Response - Iraq, updated 30 September 2014, <http://data.unhcr.org/syrianrefugees/country.php?id=103>. (UNHCR「シリア地域難民対応-イラク」2014年9月30日に更新)、Ministry of Planning - KRG / UN, Immediate Response Plan (IRP) for the IDPs crisis in the KR-I: 15 Sept - 15 Nov 2014, 28 September 2014, p. 3, <http://shar.es/1molzo>. (計画省-KRG-国連「KR-Iにおける国内避難民危機に対する即時対応計画（IRP）：2014年9月15日～11月15日」2014年9月28日、3頁)、IOM / UNAMI / UN OCHA, Kurdistan Region of Iraq (KR-I) most affected by recent wave of violence with over 850,000 displaced Iraqis this year, 30 August 2014, <http://bit.ly/1oUo8Nz>. (IOM/UNAM/UN OCHA「イラクのクルディスタン地域（KR-I）では、今年85万人以上のイラク人が避難を強いられ、最近の暴力の波の影響を最も受ける」2014年8月30日）も参照。

³¹ IOM, Displacement Tracking Matrix, Report I of Round VII, 20 October 2014, p. 4, <http://shar.es/1mQDKI>. (IOM「強制移動追跡マトリックス第7回の第1報告書」2014年10月20日、4頁) ニナワ平原とタル・アフアー（Tal Afar）地域出身の（シーア派）シャバク人やトルクメン人の数々のコミュニティが南部の行政区域で避難を求めている。REACH, Displacement of Shabak & Turkmen Shi'a Minorities from Tal Afar & Ninewa Plains, June - 18 August 2014, 18 August 2014, <http://shar.es/11jici>. (REACH「タル・アフアーとニナワ平原からのシャバク人とトルクメン人少数派シーア派の強制移動、2014年6月～8月18日」2014年8月18日) また、Associated Press, Displaced Iraqis trade war for hardship in a Shiite holy city far from home, 14 August 2014, <http://fxn.ws/1sZCwKb>. (AP通信「避難を強いられたイラク人が家から遠く離れたシーア派の聖なる都市で戦争と引き換えに苦難を受ける」2014年8月14日) を参照。

³² REACH, Iraq IDP Crisis Overview, 3-18 August, 2014, 18 August 2014, p. 1, <http://shar.es/1moZ0V>. (REACH「イラク国内避難民概要 2014年8月3日～18日」2014年8月18日1頁) UN OCHA, Iraq IDP Crisis Situation Report No. 1, 4 July 2014, <http://shar.es/1moZA0>. (UN OCHA「イラク国内避難民危機状況報告書-第1号」2014年7月4日) 1970年以降のイラクにおける様々な避難については、Internal Displacement Monitoring Centre, Iraq IDP Figures Analysis, 8 September 2014, <http://www.internal-displacement.org/middle-east-and-north-africa/iraq/figures-analysis/>. (国内避難監視センター「イラク国内避難民数の分析」2014年9月8日) を参照。

³³ カゼール（Khazair）とガルマワ（Garmawa）キャンプにいた国内避難民は、2014年8月に武装集団がこれらの地域に進攻した際、再び避難を余儀なくされた。国内避難民たちは後にキャンプに戻ったが、治安への懸念は依然として残る。ACAPS, Briefing Note: Humanitarian Implications of Violence in Northern and Central Iraq, 4 September 2014, p. 4, <http://shar.es/11j9od>. (ACAPS「ブリーフィング・ノート：イラク北部および中央部における暴力の人道の意味」2014年9月4日、4頁)、IRIN, Iraq aid response "inadequate" despite funding boost, 15 August 2014 <http://www.refworld.org/docid/53f322794.html>. (統合地域情報ネットワーク (IRIN)「資金提供の後押しにもかかわらずイラク支援の対応は『不十分』」2014年8月15日)、UN OCHA, Iraq IDP Crisis Situation Report No. 7, 9 August - 15 August 2014, 15 August 2014, p. 2, <http://shar.es/1moZ8c>. (UN OCHA「イラク国内避難民危機状況報告書-第7号」2014年8月9日～8月15日、2頁)、New Internationalist, Iraq's displaced forced to flee militant group for a second time, 11 August 2014, <http://shar.es/11zRkz>. (ニューインターナショナルリスト「イラクの避難民が武装組織からの避難を再度強いられる」2014年8月11日)、UN OCHA, Iraq IDP Crisis Situation Report No. 6, 2 - 8 August 2014, 8 August 2014, p. 2, <http://shar.es/11zB7N>. (UN OCHA「イラク国内避難民危機状況報告書-第6号」2014年8月2日～8日、2頁)

いられていると報告されている³⁴。イラク北部と中央部において戦闘が継続するにつれ、避難がさらに増加することが懸念されている³⁵。

12. 昨今の情勢も、イラク人が安全と保護を求めて周辺諸国に避難せざるを得ない原因になっている³⁶。特にトルコ³⁷、ヨルダン³⁸、シリア、そして比較的少ない数ではあるもののエジプト³⁹、レバノン⁴⁰といった地域の UNHCR 事務所はここ数週間到着した人々と既に国内にいたイラク人の登録者数の増加を確認している。UNHCR は、シリア北東部で現在 6,000 人以上のイラクからのヤジディ教徒の難民を支援している。IS のシンジャール（ニナワ）への進攻から逃れて、8月に数万人が到着した。難民、特に女性と子どもは国境を越えて長時間歩かねばならなかったため極度に衰弱しており、喉が渇き空腹、そして未処置の傷を負った状態で到着した⁴¹。ヨーロッパでもイラク人の 2014 年の難民申請者数が前年度にくらべて増加している⁴²。

13. 2014 年の死亡者数は、前年とくらべて急激な増加をみせている。イラク・ボディー・カウン
ト（IBC）は、2014 年 1 月から 10 月末までに 1 万 3600 人以上の市民の死亡者数を記録した。昨

³⁴例えば、6 月上旬にモスル市からニナワ平原に移動を強いられた主にキリスト教徒からなる約 5 万人の国内避難民は、8 月上旬に IS がこれらの地域に進攻してきた後、再び移動を強いられた。REACH, Displacement of Christian Communities from Ninewa Plains, 3 - 7 August 2014, 7 August 2014, <http://shar.es/11jCUE>. (REACH「ニナワ平原からのキリスト教徒コミュニティの強制移動 2014 年 8 月 3 日～7 日」2014 年 8 月 7 日) 同様にモスルとタル・アファー出身のシャバク人やトルクメン人の多くが IS と関連武装勢力がイラク北部で支配地を拡大するにつれ複数回の避難を強いられている。REACH, Displacement of Shabak & Turkmen Shi'a Minorities from Tal Afar & Ninewa Plains, June - 18 August 2014, 18 August 2014, <http://shar.es/11jici>. (REACH「タル・アファーとニナワ平原からのシャバク人とトルクメン人少数派シア派の強制移動、2014 年 6 月～8 月 18 日」2014 年 8 月 18 日) また、UNHCR, Iraq's displacement crisis deepens as civilians flee latest ISIS offensive, 14 October 2014, <http://www.unhcr.org/543d10119.html>. (UNHCR「直近の ISIS による攻撃から市民が避難するにつれイラクにおける国内避難の危機が深刻化」2014 年 10 月 14 日)、REACH, Iraq IDP Crisis Overview, 3 - 18 August 2014, 18 August 2014, p. 1, <http://shar.es/1moZtn>. (REACH「イラク国内避難民概要 2014 年 8 月 3 日～18 日」2014 年 8 月 18 日 1 頁) Integrated Regional Information Networks (IRIN), Iraq aid response 'inadequate' despite funding boost, 15 August 2014, <http://shar.es/11jQNu>. (統合地域情報ネットワーク (IRIN)「資金提供の後押しにもかかわらずイラク支援の対応は『不十分』2014 年 8 月 15 日」) も参照。

³⁵ UN OCHA, Humanitarian Needs Overview, 26 September 2014, p. 5, <http://bit.ly/1xoOfCD>. (UN OCHA「人道的ニーズ概要」2014 年 9 月 26 日、5 頁)

³⁶ UNHCR, Sharp increase in Iraqi refugees fleeing ISIS into Jordan and Turkey, 23 September 2014, <http://www.unhcr.org/54214cfe9.html>. (UNHCR「ISIS から逃れヨルダンやトルコへ避難するイラク難民の数が劇的に増加」2014 年 9 月 23 日)

³⁷ 約 10 万 3 千人のイラク難民がトルコにおいて UNHCR やその協力団体による登録を願っている。それには、IS がモスルおよびその周辺を攻略した 2014 年 6 月以降の難民数 6 万 5 千人を含む。UNHCR はまだ登録されていない数千人ものイラク人がトルコ東部に居住していることを認識している。アンカラにて UNHCR の協力団体による登録を求めたイラク人 2,500 人のプロファイリングによると、半数以上が IS の攻撃を逃れてきたと述べ、20%が IS の攻撃を恐れて逃げたと述べた。20%が宗派間暴力を逃れてきたことを示唆した。インタビューされた家族のほぼ半数がクルド系の人々で、33%がアラブ人であった。

³⁸ 2013 年末のアンバールにおける暴力の結果、ヨルダンにおいてイラク人の流入が増加した。2014 年 6 月上旬に IS と関連武装集団がモスルの支配権を掌握して以来、流入数はさらに増加している。2014 年最初の 5 ヶ月間、毎日約 30 人のイラク人が UNHCR にコンタクトをとっている。この数は 6 月以来一日 65 人と倍増し 8 月 9 日には一日 120 人にまで達している。今年だけでヨルダンにある UNHCR で 1 万 600 人のイラク難民が登録し、8 月だけで 1,383 人が登録した。これは、2007 年以来月ごとの新規登録数としては最大である。保護と支援を必要とする人口は増加しており、ヨルダンで現存する長期化したイラク難民の人口に付加している（2014 年 7 月末で 3 万 300 人以上が登録されている）。新しく到着した難民の約 3 分の 2（60%）がニナワ、サラフディーン、アンバール行政区区域といった IS が支配する地域出身である。これらの地域からの難民は、家が焼かれたりイスラム教への改宗を強制されたり、強制結婚、誘拐や公共の場での脅迫を恐れて避難したと述べた。ヨルダンに到着した他の新しい難民は、バグダッドやバスラにおける宗派間暴力から逃れている。

³⁹ エジプトはイラクと国境を接せず、またイラク国民がエジプトに入国する際には査証が必要であるため、新たな難民の流入は予想されていない。しかし、既にエジプトにいるイラク人で UNHCR にコンタクトをとる人の数は明らかに増加している。（エジプトに滞在する）イラク人にとって経済的手段およびイラクに帰還する可能性が減少しており、イラクにいる家族からの送金が限られていることを鑑みると、この傾向は継続するものとみられる。

⁴⁰ 2014 年 7 月以来レバノンにおける（イラク人の）流入が日々増加している。現在の割合でいくと現在既に登録されている約 7 千人のイラク人に加えて、2014 年末までに 3 千人のイラク人がさらに登録されることと予想されている。

⁴¹ ヤジディ教徒の大多数はシリアを越えてイラクのクルディスタン地域へと旅を続けた。UNHCR, The difficult route to safety across Iraq's sun-baked Sinjar mountains, 20 August 2014, <http://www.unhcr.org/53f490159.htm>. (UNHCR「イラクの陽光照りつけるシンジャール山を越える安全への困難な旅路」2014 年 8 月 20 日)、UNHCR, Yazidis stream into Syria from Mount Sinjar, UNHCR steps up aid, 14 August 2014, <http://www.refworld.org/docid/53ecc9c54.html>. (UNHCR「ヤジディ教徒がシンジャール山からシリアへと流入、UNHCR が支援を増強」2014 年 8 月 14 日)

⁴² 2014 年の第 2 四半期と 2013 年の同時期とを比較すると、EU における難民申請者の数は 2,355 人から 3,130 人へと 3 分の 1 の割合で増加した。Eurostat, Asylum applicants and first instance decisions on asylum applications: second quarter 2014, p. 5, http://epp.eurostat.ec.europa.eu/cache/ITY_OFFPUB/KS-QA-14-011/EN/KS-QA-14-011-EN.PDF. (ユーロスタット「難民申請と難民申請の一次審査における認定結果：2014 年第 2 期」5 頁)

年の同期間の死亡者数は7,800人であり、1万3600人という数は、宗派間紛争の極みであった2006年から2007年以来最大となっている⁴³。2014年1月から9月の間、国連はイラクにおいて（アンバールを除く）7,700人以上の市民の死亡者数を記録している。これには、ISと関連武装集団が、イラク北部および東部で大規模な攻撃を開始した2014年6月以来の市民の死亡者数約4,800人を含む⁴⁴。国連イラク支援ミッション（UNAMI）によると、2014年度に死亡者数において最もひどい影響を受けた行政区域はバグダッドであった。続いて（アンバールを除く、常にこの順序ではない）、ニナワ、サラーフディーン、キルクーク、バーベル、ディヤラ行政区域となっている⁴⁵。イラク政府は、2014年1月から6月までの死亡者数を発表した。それによると6,676人が死亡、その内訳は5,322人が市民、512人が警官、842人が軍の関係者となっている⁴⁶。

14. 暴力の激化により、食糧、水、医療へのアクセスの欠如⁴⁷、負傷や障がい⁴⁸、所有物および生活の破壊⁴⁹、そして基本的な生活を維持するために必要なサービスへのアクセスが破綻している⁵⁰ことから、さらに死亡者が出ている

15. 紛争は現在、アンバール、ニナワ、サラーフディーン、ディヤラ、キルクークそしてバーベルといった中央部および北部の行政区域に主に集中している。頻繁に（限られているわけではないが）シーア派の人々が多く居住する地域を対象とした攻撃が、依然としてバグダッドを中心に行われ大量の死傷者を出しており⁵¹、宗派間暴力の高まりが見られる⁵²。クルディスタン地域の治安状況は、クルド軍が厳戒態勢を敷いており、ISおよび関連武装集団の攻撃を阻止するために強固な警備態勢を取っているため、比較的安定している⁵³。クルディスタン地域の

⁴³ Iraq Body Count, accessed 22 October 2014, <https://www.iraqbodycount.org/database/>. (イラク・ボディー・カウント、2014年10月22日に情報入手)を参照。

⁴⁴ UNAMIによるとこの数は推定であり、実際の数はこれよりも多い可能性がある。同数は文民警察官を含むが、2014年1月から9月まで記録されているイラク治安部隊、ペシュメルガ、SWATやイラク治安部隊と共に戦っている関連部隊の死者2,500名以上は含まれていない。UNAMI, *UN Casualty Figures for September 2014, Anbar province excluded*, 1 October 2014, <http://bit.ly/1vKq2p8>. (UNAMI「2014年9月国連死傷者数（アンバール行政区域を除く）」2014年10月1日）UNAMIはアンバールの保健理事会からも未確認の死傷者数を得た。これらによると、2014年1月から8月の間で1,600人以上が死亡5,500人以上が負傷している。（死亡あるいは負傷した市民の状況は不明）UNAMIによる月間死傷者数報告書を参照、http://www.uniraq.org/index.php?option=com_k2&view=itemlist&task=category&id=159:civilian-casualties. にて入手可。また、UNAMI/OHCHR, *Report on the Protection of Civilians in Armed Conflict in Iraq: 6 July – 10 September 2014*, 2 October 2014, p. 1, <http://www.refworld.org/docid/542d3eb64.html>. (UNAMI/OHCHR「イラクの武力紛争における市民の保護に関する報告書：2014年7月6日～9月10日」2014年10月2日、1頁)も参照。

⁴⁵ 最新の国連死傷者数および行政区域ごとの比較データに関しては、

http://www.uniraq.org/index.php?option=com_k2&view=itemlist&task=category&id=159:civilian-casualties. を参照。

⁴⁶ ちなみに、2013年に記録された死者数は6,522人、2012年は2,174人、2011年は2,645人、2010年は3,605人、2009年は3,481人、2008年は6,798人であった。Iraq Government Casualty Figures, compiled by AFP, accessed 22 October 2014, <http://bit.ly/1vNKju8>. (「AFPによってまとめられたイラク政府死傷者数」2014年10月22日に情報入手)

⁴⁷ UNAMI/OHCHR, *Report on the Protection of Civilians in Armed Conflict in Iraq: 6 July – 10 September 2014*, 2 October 2014, p. 1, <http://www.refworld.org/docid/542d3eb64.html>. (UNAMI/OHCHR「イラクの武力紛争における市民の保護に関する報告書：2014年7月6日～9月10日」2014年10月2日、1頁)

⁴⁸ 2014年1月から9月の間にUNAMIは1万2000以上の紛争に関連する負傷を記録している。UNAMI, *UN Casualty Figures for September 2014, Anbar province excluded*, 1 October 2014, <http://bit.ly/1vKq2p8>. (UNAMI「2014年9月国連死傷者数（アンバール行政区域を除く）」2014年10月1日)

⁴⁹ シェルター・クラスターは、紛争の結果生じた建物やインフラへのダメージはアンバールで最も広範に及ぶと査定した。ある情報提供者によるとアンバールにある建物のうち35%が完全に破壊されており、38%が中程度から重程度の被害を被った。Shelter Cluster, *Rapid Assessment: Area of Origin Assessment Report*, October 2014, p. 4, <http://shar.es/1moZLp>. (シェルター・クラスター「迅速評価」2014年10月、4頁)

⁵⁰ 下記「人道上の情勢」を参照。

⁵¹ 上記第4段落を参照。

⁵² 上記第9段落を参照。

⁵³ 2014年9月17日にクルディスタン地域治安理事会が住民に対して、IS戦闘員が地域に潜入を試み、テロ攻撃を行う可能性を理由に注意レベルを上げるよう警告する声明を出した。Ekurd.net, *Kurdistan Region-Iraq News in brief*, 17 September 2014, <http://bit.ly/1CUDbQM>. (Eduard.net「クルディスタン地域—イラクニュースブリーフ」2014年9月17日) 2014年8月23日にクルドの首都エルビルで自動車爆弾が

国境に展開する ISIS 及び関連武装集団が、かつてクルド軍が支配していた地域に進出したため、クルド軍との間で戦闘が起きている。南部の行政区域では自動車爆弾⁵⁴、標的殺人・誘拐を含む治安上の事件や政党党員、宗教および部族の指導者、政府職員、学者を含めた個人に対する宗派間の復讐攻撃が継続して起きている⁵⁵。

人道上の情勢

16. 紛争、強制移動、包囲攻撃および主要なインフラを標的とした攻撃によるサービスの中断の結果、人道的ニーズは急激に増加し、イラク（主にクルディスタンにおいて）に庇護を求めた20万人以上のシリア難民を含め既存する膨大な人道的ニーズにさらに付加することとなっている。現在、イラク全体で500万人以上の人々が人道上の支援を必要としている⁵⁶。そのうち人道支援機関の手が届いている人々はわずか150万人である⁵⁶。人道危機の規模およびその複雑な性質を鑑み、国連は2014年8月12日、イラクに対し最高レベルの緊急指標である「レベル3」を指定した⁵⁷。

17. 紛争地域に居住する人々の人道上の情勢はとくに懸念される。基本的サービス、食糧、その他の物資へのアクセスが厳しく制限され、安全上の、そして官僚的、政治的判断のために国際

爆発し、報告によるとクルド人の治安部隊はIS潜在スパイの可能性に危機感を募らせている。Christian Science Monitor, *In northern Iraq, Islamic State switching to terror tactics*, 25 August 2014, <http://yhoo.it/lqsuxov> (クリスチャン・サイエンス・モニター「イラク北部でISが恐怖戦術に変更」2014年8月25日)

⁵⁴ 例えばAl Jazeera, *Deadly car bombings hit Iraq's Karbala*, 20 October 2014, <http://aje.me/1tEF435> (アルジャジーラ「致命的な自動車爆弾がイラクのカルバラを襲う」2014年10月20日)、Associated Press, *Iraq car bomb attacks kill 17*, 11 September 2014, <http://yhoo.it/1t29egz>. (AP通信「イラクの自動車爆弾攻撃が17人を殺害」2014年9月11日)、Al Jazeera, *Iraq bombings target Shia areas*, 25 August 2014, <http://aje.me/1wrN88q>. (アルジャジーラ「イラクでの爆発がシーア派地域を標的にする」2014年8月25日) Reuters, *Twin blasts kill at least three in Iraq's Basra*, 5 July 2014, <http://reut.rs/1xo5Dr8>. (ロイター通信「イラクのバスラにおける2つの爆発により少なくとも3人死亡」2014年7月5日)、National Iraqi News Agency (NINA), *Five killed, four injured in a car bomb explosion north of Karbala*, 11 June 2014, <http://bit.ly/ZQKeMz>. (国営イラクニュース (NINA) 「カルバラ北部での自動車爆弾爆発により5人死亡、4人負傷」2014年6月11日)、Iraqi News, *Mol: 23 persons killed, injured in Babel, Najaf, Dhi-Qar bombings*, 2 June 2014, <http://bit.ly/1yLWop3>. (イラクニュース「内務省：バーベル、ナジャフ、ジーカール (Dhi-Qar) での爆発により23人が死傷」2014年6月2日)、Associated Press, *Attacks across Iraq kill at least 15 people*, 2 June 2014, <http://dailym.ai/1kxuzIS>. (AP通信「イラクにおける攻撃で少なくとも15人死亡」2014年6月2日)、Anadolu Agency, *10 killed, 20 injured in bomb attack in Iraq's Wasit*, 21 April 2014, <http://u.aa.com.tr/316421>. (アナドル・エージェンシー「イラクのワシトにおける爆発で10人死亡20人負傷」2014年4月21日)、Al Akhbar, *Thirteen car bombs rip through Iraq*, 9 April 2014, <http://english.al-akhbar.com/node/19360>. (アル・アクバル「イラク全体で13の自動車爆弾が炸裂」2014年4月9日)、NINA, *BREAKING NEWS. 17 people killed and wounded in a roadside car bomb explosion north of Karbala*, 18 March 2014, <http://bit.ly/1rgsQ9k>. (NINA「最新情報ーカルバラの北部における沿道の自動車爆弾爆発で17人死傷」2014年3月18日)、New York Times, *Suicide Bomber Kills at Least 45 at Checkpoint in Southern Iraq*, 9 March 2014, <http://nyti.ms/1fi0buR>. (ニューヨーク・タイムズ「イラク南部のチェックポイントで自爆者が少なくとも45人を殺害」2014年3月9日)

⁵⁵ 例えばNINA, *House of TV reporter targeted by a bomb in Qadisiyah province*, 2 September 2014, <http://bit.ly/1vTaL5n>. (NINA「カディシヤ (Qadisiyah) 県の爆弾により放送記者の家が標的となる」2014年9月2日)、NINA, *A roadside bomb targeting the house of the director of culture department in al-Ataba al-Hosseiniya in the center of Karbala*, 26 August 2014, <http://bit.ly/1yM8oXU> (NINA「カルバラの中心部アタバーホセイニヤ (al-Ataba al-Hosseiniya) にある文化局局長の家が爆弾の標的に」2014年8月26日)、NINA, *Two Sistani representatives' homes targeted by homemade bombs in Diwaniya*, 10 August 2014, <http://bit.ly/1vNcwKJ>. (NINA「2名のシスタニ (Sistani) 代表者の家がディワニヤ (Diwaniya) で手製爆弾の標的に」2014年8月10日)、NINA, *A cleric killed and another wounded in Basra*, 8 August 2014, <http://bit.ly/1oPLkgY>. (NINA「バスラで聖職者殺害、さらに1名負傷」2014年8月8日)、NINA, *Basra governor's secretary injured in sticky bomb*, 28 July 2014, <http://bit.ly/1EsNTzD>. (NINA「バスラ行政区域の事務官粘着爆弾により負傷」2014年7月28日)、NINA, *Gunmen assassinate Faw council member*, 19 July 2014, <http://bit.ly/1vT4uqi>. (NINA「武装者がフォー (Faw) の議会議員を暗殺」2014年5月4日)、NINA, *MP escapes an assassination attempt*, 4 May 2014, <http://bit.ly/1oPLf3f>. (NINA「国会議員暗殺、未遂に終わる」2014年5月4日)、NINA, *Two bombs exploded outside the home of a judge and the communications tower in Basra*, 18 April 2014, <http://bit.ly/1sc14RK>. (NINA「バスラの裁判官の家の外とコミュニケーションタワーで2つの爆弾が爆発」2014年4月18日)、NINA, *Senior police officer killed in Basra*, 22 March 2014, <http://bit.ly/1ncCAGs>. (NINA「巡査長バスラで殺害される」2014年3月22日)、Institute for the Study of War, *Rise in Targeting of Iraqi Sunni Tribal Leaders in Southern Iraq*, Iraq Update #40, 27 November 2013, <http://bit.ly/1q0Pacm>. (ISW「イラク南部におけるスンニ部族指導者を標的とした攻撃が増加、イラク更新第40号」2013年11月27日)を参照。

⁵⁶ UN OCHA, *Iraq IDP Crisis Situation Report No. 13, 20 September – 26 September 2014*, 26 September 2014, p. 1, <http://shar.es/1moJUD>. (UN OCHA「イラク国内避難民危機状況報告書ー第13号ー2014年9月20日~9月26日」2014年9月26日、1頁)

⁵⁷ UNAMI, *UN Declares a 'Level 3 Emergency' for Iraq to Ensure More Effective Humanitarian Response*, 19 August 2014, <http://www.refworld.org/docid/53f323334.html>. (UNAMI「より効果的な人道的対応を確実にするため国連がイラクに『緊急指標レベル3』を宣言」2014年8月19日)

機関の手が殆ど届かない状況にある⁵⁸。報告によると、幾つかの主要な供給ルートも封鎖されており、当局は何度も行政上の理由あるいは紛争の同盟上の理由から人道的なアクセスを制限している⁵⁹。これらの地域における現在の状況に関する情報は限られている⁶⁰。武装集団は基本的なサービスおよび配水管網や配電網などの公共設備を標的にしていると報じられている⁶¹。多くの地域では**保健**インフラ設備と医療サービスへのアクセスが、紛争により遮断されている⁶²。物資、電気、水⁶³の欠如、そして避難が引き起こしている医療従事者の不足により、この状況はさらに悪化している⁶⁴。

18. 貧困に苦しむイラク人にとって主な食料の入手源である公共配給制度（PDS）の中断⁶⁵、農産物の破壊や没収、市場の崩壊、社会不安の広がり、そして大規模な避難は市民による食糧へのアクセスをさらに困難にしている。全土にわたり、5月～6月の穀物の収穫がニナワ、サラーフディーン行政区域などの重要な穀物生産地域における紛争により圧迫され、食糧安全保障が脅威にさらされている⁶⁶。アンバールで最近起きた強制移動により10月～11月の小麦の種まきが中断される恐れがある⁶⁷。国連世界食糧計画（WFP）の中東・北アフリカ・中央アジア・東欧地域局局长、モハメド・ディアブ氏は「イラクにおける食料安全保障の状況は警戒レベルに

⁵⁸ ニナワ、アンバール、キルクーク、サラーフディーン、ディヤラ行政区域における人道的アクセスは「非常に困難」と報告されている。UN OCHA, *Humanitarian Needs Overview*, 26 September 2014, p. 25, <http://bit.ly/1xoOfCD>. (UN OCHA「人道的ニーズ概要」2014年9月26日、25頁)

⁵⁹ UN OCHA, *Iraq IDP Crisis Situation Report No. 13, 20 September – 26 September 2014*, 26 September 2014, p. 2, <http://shar.es/1moJUD>. (UN OCHA「イラク国内避難民危機状況報告書—第13号—2014年9月20日～9月26日」2014年9月26日、2頁)

⁶⁰ ACAPS, *Briefing Note: Humanitarian Implications of Violence in Northern and Central Iraq*, 7 August 2014, <http://shar.es/11YP14>. (ACAPS「ブリーフィング・ノート：イラク北部および中央部における暴力の人道的意味」2014年8月7日)

⁶¹ UN OCHA, *Humanitarian Needs Overview*, 26 September 2014, p. 26, <http://bit.ly/1xoOfCD> (UN OCHA「人道的ニーズ概要」2014年9月26日、26頁)、UN OCHA/UNAMI, *Immediate, safe and unhindered humanitarian access is now needed*, 31 July 2014, <http://shar.es/11jpoZ>. (UN OCHA/UNAMI「即時の安全で妨害されることのない人道的アクセスが今必要とされている」2014年7月31日)

⁶² UN OCHA, *Humanitarian Needs Overview*, 26 September 2014, pp. 13-14, <http://bit.ly/1xoOfCD>. (UN OCHA「人道的ニーズ概要」2014年9月26日、13～14頁) 例えば、サラーフディーン行政区域にある9つの病院のうち現在完全に機能しているのは2つだけである。UN OCHA, *Iraq IDP Crisis Situation Report No. 12, 13 September – 19 September 2014*, 19 September 2014, p. 4, <http://reliefweb.int/sites/reliefweb.int/files/resources/Iraq.pdf>. (UN OCHA「イラク国内避難民危機状況報告書—第12号—2014年9月13日～9月19日」2014年9月19日、4頁) 世界保健機関（WHO）によると、シンジャール（ニナワ）地域では、総合病院と19ある初期医療センターのうち16が機能していない。WHO, *Health Emergency Highlights*, Issue #17, 31 August 2014, <http://shar.es/1a0hdB>. (WHO「保健非常事態ハイライト—第17号」2014年8月31日)

⁶³ UN OCHA, *Humanitarian Needs Overview*, 26 September 2014, p. 14, <http://bit.ly/1xoOfCD>. (UN OCHA「人道的ニーズ概要」2014年9月26日、14頁)

⁶⁴ 国境なき医師団のイラクミッション代表ファビオ・フォルジョーネ氏は、「我々は医療スタッフからここ数週間、より多くの病院が爆弾で攻撃されているという情報を聞いている。医療スタッフは、自分たちが働いている医療施設への攻撃を恐れ避難している。我々は非常に多くの人々が必要としている医療支援を奪われた状態にあることを危惧している。」と述べた。Médecins Sans Frontières, *Iraq Hospitals Destroyed by Air Strikes*, 24 July 2014, <http://shar.es/11jrZ9>. (国境なき医師団「イラクの病院が空爆により破壊」2014年7月24日) さらに、WHO, *Health Emergency Highlights*, Issue #17, 31 August 2014, <http://shar.es/1a0hdB>. (WHO「保健非常事態ハイライト—第17号」2014年8月31日)、UNAMI/ OHCHR, *Report on the Protection of Civilians in the Non International Armed Conflict in Iraq: 5 June – 5 July 2014*, 18 July 2014, p. 21, http://www.ohchr.org/Documents/Countries/IQ/UNAMI_OHCHR_POC_Report_FINAL_18July2014A.pdf. (UNAMI/OHCHR「イラクの非国際武力紛争における市民の保護に関する報告書：2014年6月5日～7月5日」2014年7月18日、21頁)、HRW, *Iraq: Government Attacking Fallujah Hospital*, 27 May 2014, <http://www.refworld.org/docid/538d99144.html>. (ヒューマンライツウォッチ「イラク：政府がファルージャ（Fallujah）の病院を攻撃」2014年5月27日）も参照。

⁶⁵ UN OCHA, *Humanitarian Needs Overview*, 26 September 2014, p. 3, <http://bit.ly/1xoOfCD>. (UN OCHA「人道的ニーズ概要」2014年9月26日、3頁)

⁶⁶ ニナワとサラーフディーン行政区域はイラクの小麦生産の約3分の1、大麦生産の約38%を担っている。UN OCHA, *Iraq IDP Crisis Situation Report No. 4, 19-26 July 2014*, 26 July 2014, p. 2, <http://shar.es/11jqct>. (UN OCHA「イラク国内避難民危機状況報告書—第4号—2014年7月19日～26日」2014年7月26日、2頁)、Food and Agriculture Organization of the United Nations (FAO), *Iraq: Serious food security concerns due to conflict*, 25 June 2014, <http://www.fao.org/news/story/en/item/237162/icode/>. (国連食糧農業機関（FAO）「イラク：紛争により食糧安全保障に深刻な懸念」2014年6月25日）さらに、Reuters, *Special Report: Islamic State uses grain to tighten grip in Iraq*, 30 September 2014, <http://reut.rs/1DUWryZ>. (ロイター通信「ISがイラク掌握を目的に穀物を利用」2014年9月30日)

⁶⁷ UN OCHA, *Iraq IDP Crisis Situation Report No. 16, 11 - 17 October 2014*, 17 October 2014, p. 2, <http://shar.es/1mQFiG>. (UN OCHA「イラク国内避難民危機状況報告書—第16号—2014年10月11日～17日」2014年10月17日、2頁)

達している。1990年初期の国連制裁以来、最悪の状態である⁶⁸。」と述べている。

19. 避難が起きている地域では、現地当局とコミュニティが限界状態にあり、わずかな衣服を背負い自分たちを養うための資力がほとんどない状態で到着した国内避難民に、基本的なサービスや公共インフラを提供することができていない⁶⁹。適切なシェルターの確保が大きな懸念事項である。避難民にとっての主要なシェルター確保の方法は、受入コミュニティに滞在することである。しかし、大規模な避難危機のため避難民を収容できる住居は非常に限られている。家賃は大幅に上昇し、多くの新しい避難民が未完成または廃墟となった建物、学校、モスク、教会を占拠せざるを得なくなっている。他の者は屋外で水準以下の生活状況にあり⁷⁰、来る冬の間人々は重大な健康上の危機にさらされることとなる⁷¹。住居が不適切であるため、人々は複数回にわたる避難を強いられている⁷²。現在モスクや巡礼者用ゲストハウスに避難しているカルバラーとナジャフの国内避難民が、やがて来る宗教儀式の前に立ち退きを強制される可能性が懸念されている⁷³。ほとんどプライバシーのない極度に過密した状況で生活していることから、殊に女性と子どもを対象にした嫌がらせやあらゆる形態の搾取といった保護の懸念が生

⁶⁸ World Food Programme (WFP), *Saudi Arabia Contribution Saves Lives, Allows WFP To Rapidly Respond To Food Crisis In Iraq*, 19 August 2014, <http://bit.ly/1pD5vxJ>. (WFP「サウジアラビアの貢献が生命を救う、WFPがイラクにおける食糧危機に迅速に対応することを可能にする」2014年8月19日)

⁶⁹ 「国連とその人道的協力団体はイラク政府と協力して、危機に対してあらゆる人道的支援の方法を利用して取り組んでいるが、この危機は国家当局と国際社会が対応できる能力を超えて継続している。」UN OCHA, *Humanitarian Needs Overview*, 26 September 2014, p. 1, <http://bit.ly/1xoOfCD>. (UN OCHA「人道的ニーズ概要」2014年9月26日、1頁)クルディスタン地域政府(KRG)は、「(避難民の)家族の基本的ニーズは行政区域当局の能力を超えるものである。この危機に我々だけでは対応できない。」と述べた。KRG, *Duhok governorate continues to provide aid to displaced families*, 12 September 2014, <http://shar.es/1a0Gwp>. (KRG「ドホーク行政区域は避難民の家族に継続して支援を提供している」2014年9月12日)「ほとんどの地域では、国内避難民の存在が受入コミュニティに更なる重圧を加えることとなり、コミュニティが彼らを支援する能力を奪っている。」ICRC, *Iraq: More than a million victims of fighting receive ICRC help*, 4 September 2014, <http://bit.ly/1wd4eTV>. (赤十字国際委員会(ICRC)「イラク:100万人以上の戦闘の犠牲者がICRCによる支援を享受」2014年9月4日)

⁷⁰ イラク全域で国内避難民の大多数はホストファミリーの下であるいは借家で滞在を続けている。しかし、国内避難民全体のかなりの割合が学校の建物、宗教的建造物、未完成の建物等別の形式のシェルターに避難している。南部の避難民のうち62%が宗教的建造物に居住しており、クルディスタン地域では15%が未完成の建物に、12%が学校に居住している。IOM, *Displacement Tracking Matrix, Report I of Round VII*, 20 October 2014, p. 5, <http://shar.es/1mQDKI>. (IOM「強制移動追跡マトリックス-第7回の第1報告書」2014年10月20日、5頁)「KR-Iにおける国内避難民危機に対する即時対応計画」によると、国内避難民のうち45%が未完成の建物、非公式の居住地や総合施設といった「脆弱なシェルター設備」に居住している。」Ministry of Planning - KRG / UN, *Immediate Response Plan (IRP) for the IDPs crisis in the KR-I: 15 Sept - 15 Nov 2014*, 28 September 2014, p. 4, <http://shar.es/1molzo>. (計画省-KRG-国連「KR-Iにおける国内避難民危機に対する即時対応計画(IRP):2014年9月15日~11月15日」2014年9月28日、4頁)さらにIRIN, *Heavy toll in Iraq's "forgotten" Anbar*, 6 October 2014, <http://shar.es/1moWK6>. (IRIN「イラクの忘れられたアンバールの大きな犠牲」2014年10月6日)、IOM/CCCM Cluster/REACH, *Iraq Internal Displacement Crisis Assessment Report*, 10 September 2014, <http://shar.es/1a0oWr>. (IOM/CCCMクラスター/REACH「イラク国内避難危機評価報告」2014年9月10日)

⁷¹ IOMはイラク全体で約126万人の国内避難民が迫る冬の間危機に陥ると予想しており、特にキャンプ、非公式の居住地や居住に適さないシェルターに住む避難民が最も危機に晒されている。UN OCHA, *Iraq Crisis Situation Report No. 15*, 4 October - 10 October 2014, p. 2, <http://shar.es/1mGj5P>. (UN OCHA「イラク危機状況報告書-第15号-2014年10月4日~10月10日」2頁)さらにNPR, *Iraqis Displaced By ISIS Face Another Threat: Winter*, 12 October 2014, <http://shar.es/1mGhAN>. (ナショナル・パブリック・ラジオ「ISISにより避難を強いられたイラク人がまた別の脅威に直面する:冬」2014年10月12日)Ministry of Planning - KRG / UN, *Immediate Response Plan (IRP) for the IDPs crisis in the KR-I: 15 Sept - 15 Nov 2014*, 28 September 2014, p. 4, <http://shar.es/1molzo>. (計画省-KRG-国連「KR-Iにおける国内避難民危機に対する即時対応計画(IRP):2014年9月15日~11月15日」2014年9月28日、4頁)、UN OCHA, *UN Humanitarian Chief calls for more shelter and protection for displaced Iraqis ahead of winter*, 14 September 2014, <http://shar.es/1a0adF>. (UN OCHA「冬を前に国連人道問題代表がイラクの避難民のためにシェルターと保護の提供を要請」2014年9月14日)、AI, *"Don't they know that winter is coming?" Frustration and fear among Iraq's displaced*, 8 September 2014, <http://owl.li/BeH8y>. (アムネスティ・インターナショナル「『彼らは冬がまもなく来るということを知らないのか?』イラク避難民の間の失望と恐怖」2014年9月8日)も参照。

⁷² 例えばキルクークでは、市内にある未完成の建物に避難していた多数の国内避難民家族が厳しい生活環境のせいで再び避難を強いられたという報告があった。IOM, *Displacement Tracking Matrix, Report III of Round VI*, October 2014, p. 5, <http://iomiraq.net/file/1270/download?token=aH5gsss0>. (IOM「強制移動追跡マトリックス-第6回の第3報告書」2014年10月、5頁)

⁷³ UN OCHA, *Iraq Crisis Situation Report No. 15*, 4 October - 10 October 2014, 10 October 2014, p. 1, <http://shar.es/1mGj5P>. (UN OCHA「イラク危機状況報告書-第15号-2014年10月4日~10月10日」2014年10月10日1頁)

じている⁷⁴。多くのキャンプは使用中、修理中あるいは建設中であるが、すべてが最低基準を満たしているわけではなく、資金不足であったり、キャンプの運営が欠如した状態にある⁷⁵。キャンプを追加して設立することが現在考慮されている⁷⁶。非常に多くの学校施設が国内避難民の受け入れを継続しているか、武装集団に占領されているか、あるいは紛争の結果破損されている⁷⁷。

20. とくにイラク中央部とドホーク行政区域における国内避難民を受入れている地域では、紛争により学年度の開始が相当遅れている⁷⁸。遅れが長引くと、受入コミュニティの間に国内避難民に対する憤りを生じさせる可能性がある⁷⁹。過密状態、言語障壁、カリキュラムの相違（クルディスタン地域において）、そして登録の複雑さのために、避難民の子どもが教育にアクセスすることができない状態にある⁸⁰。教育制度に影響を与えているもう一つの課題はイラクの教師9万5000人の半数以上が避難していることである⁸¹。多数の国内避難民は食糧支援を緊急に必要としている⁸²。人道支援団体は空地、未完成の建物、学校、その他の一時的なシェルターで生活

⁷⁴ UN OCHA, *Humanitarian Needs Overview*, 26 September 2014, p. 15, <http://bit.ly/1xoOfCD>. (UN OCHA 「人道的ニーズ概要」 2014年9月26日、15頁)、UNAMI / OHCHR, *Report on the Protection of Civilians in the Non International Armed Conflict in Iraq: 5 June – 5 July 2014*, 18 July 2014, p. 21, <http://www.refworld.org/docid/53ce0f0d4.htm>. (UNAMI/OHCHR 「イラクの非国際武力紛争における市民の保護に関する報告書：2014年6月5日～7月5日」 2014年7月18日、21頁)

⁷⁵ UN OCHA, *Iraq Crisis Situation Report No. 15, 4 October – 10 October 2014*, 10 October 2014 p. 4, <http://shar.es/1mGj5P>. (UN OCHA 「イラク危機状況報告書—第15号—2014年10月4日～10月10日」 2014年10月10日4頁)、UN OCHA, *Iraq IDP Crisis Situation Report No. 13, 20 September – 26 September 2014*, 26 September 2014, p. 4, <http://shar.es/1moJUD>. (UN OCHA 「イラク国内避難民危機状況報告書—第13号—2014年9月20日～9月26日」 2014年9月26日4頁)

⁷⁶ IOM, *Overview of existing or potential locations for displacement sites in Northern Iraq (as of 13 Sep 2014)*, 14 September 2014, <http://shar.es/1a0GBR>. (IOM 「イラク北部における現存するあるいは潜在的な避難場所に関する概要 (2014年9月13日の時点)」 2014年9月14日)、UNHCR, *Shelter needs acute in northern Iraq as UNHCR steps up aid operation*, 5 September 2014, <http://www.unhcr.org/5409834b9.html>. (UNHCR 「UNHCRが支援を増加するにつれイラク北部における切迫したシェルターの必要性が明らかに」 2014年9月5日)、UN OCHA, *Iraq IDP Crisis Situation Report No. 9, 23 - 29 August 2014*, <http://shar.es/114qzmz>. (UN OCHA 「イラク国内避難民危機状況報告書—第9号—2014年8月23日～29日」) KRGはエルビル、スレイマニヤ、ドホーク行政区域で26のキャンプ用地を特定している。これらの土地に約24万人を受入れることが可能である。しかし、UN OCHAによると利用できる資源は限られている。UNICEF, *Iraq Weekly Humanitarian Situation Report, 26th August – 1st September 2014*, 1 September 2014, <http://shar.es/11jSop>. (UNICEF 「イラク週刊人道情勢報告、2014年8月26日～9月1日」 2014年9月1日)

⁷⁷ 2014年9月30日現在、国内避難民はアンバール行政区域で435の学校そして、ディヤラで69の学校を使用しており、さらに137の学校が現在武装集団に占拠されている。バグダッドでは、29の学校が軍事活動のために占拠される、あるいは破損を受けている。ドホーク行政区域では、501の学校が国内避難民の家族によって使用されており、125の学校が最近（時には別の住居が確保されない状態で）明け渡された。UN OCHA, *Iraq Crisis Situation Report No. 15, 4 October – 10 October 2014*, 10 October 2014, p. 6, <http://shar.es/1mGj5P>. (UN OCHA 「イラク危機状況報告書—第15号—2014年10月4日～10月10日」 2014年10月10日、6頁)

⁷⁸ 占拠されているあるいは破壊・破損されている学校の概要については、UNAMI, *Iraq Crisis Situation Analysis - Schools*, 19 October 2014, <http://shar.es/1mQyAk>. (UNAMI 「イラク危機状況分析—学校」 2014年10月19日)を参照。また、UNICEF/Education Cluster, *Education Cannot Wait: Education on the Brink in Iraq*, 16 August 2014, <http://shar.es/11YQo9>. (UNICEF・教育クラスター「教育は待てない：イラクでは教育が危機的状況にある」 2014年8月16日)も参照。

⁷⁹ UN OCHA, *Iraq IDP Crisis Situation Report No. 11, 6 September – 12 September 2014*, 12 September 2014, p. 1, <http://shar.es/1a000z>. (UN OCHA 「イラク国内避難民危機状況報告書—第11号—2014年9月6日～9月12日」 2014年9月12日、1頁) Foreign Policy In Focus, *From Schools to Shelters in Iraq*, 9 September 2014, <http://www.hrw.org/news/2014/09/09/schools-shelters-iraq>. (外交政策フォーカス「イラクの学校からシェルターへ」 2014年9月9日)も参照。

⁸⁰ UN OCHA, *Iraq IDP Crisis Situation Report No. 14, 26 September – 3 October 2014*, 3 October 2014, p. 7, <http://shar.es/1mowRL>. (UN OCHA 「イラク国内避難民危機状況報告書—第14号—2014年9月26日～10月3日」 2014年10月3日、7頁)、Ministry of Planning - KRG / UN, *Immediate Response Plan (IRP) for the IDPs crisis in the KR-I: 15 Sept - 15 Nov 2014*, 28 September 2014, p. 17, <http://shar.es/1molzo>. (計画省—KRG—国連「KR-Iにおける国内避難民危機に対する即時対応計画 (IRP) : 2014年9月15日～11月15日」 2014年9月28日、17頁)

⁸¹ UNICEF, *Iraq Weekly Humanitarian Situation Report, 12 – 18 August 2014*, 18 August 2014, <http://bit.ly/1oTsn6>. (UNICEF 「イラク週刊人道情勢報告、2014年8月12日～18日」 2014年8月18日)

⁸² UN OCHA, *Iraq IDP Crisis Situation Report No. 14, 26 September – 3 October 2014*, 3 October 2014, p. 4, <http://shar.es/1mowRL>. (UN OCHA 「イラク国内避難民危機状況報告書—第14号—2014年9月26日～10月3日」 2014年10月3日、4頁)

している国内避難民が、水と衛生（WASH）を緊急に必要としていることに懸念を表明している⁸³。

21. 地域医療サービスは国内避難民の増加に伴い対応を超えた状態にあり、基本的な薬や慢性疾病に対する薬が不足している⁸⁴。未完成のビルや野外で生活する国内避難民はとくに医療サービスを受けるのが困難である⁸⁵。多くの国内避難民が衝撃的な事件を目撃していることから、彼らへの医療および精神的支援の必要性が多大であることが確認されている⁸⁶。

22. 国内避難民は収入がなく貯蓄も（たとえあったとしても）なくなっており、さらなる移動の危機に直面している⁸⁷。報告によると、クルディスタン地域における高額の生活費がまかなえず、国内避難民が自分の行政区域に帰還したりイラクの他の地域に二次的移動を強いられたりしている⁸⁸。

23. 国内避難民にとって旅券、PDS 配給カード、国籍証明書といった市民の身分証明書を入手あるいは更新することは一層困難になっている。通常、こういった証明書を入手するためには原本が保管されている出身地に戻らねばならないが、現在の時点では、多くの者にとって帰還が実現する見通しはない⁸⁹。書類差し替えサービスを提供する特別事務所がバグダッドとナジャフに設立されている。しかし、国の他の場所に居住する国内避難民、特にクルディスタン地域の避難民がこれらのサービスへアクセスするには高額の旅費の調達等の困難を伴う。有効な市民

⁸³ 例えばクルディスタン地域のザーコ（Zahko）やドホークといった町の学校や非公式の居留地で現在受け入れられている国内避難民の多くは衛生的な公衆衛生施設を喫緊に必要としている。人道団体によると場所の特定、ニーズの評価、そして対応は場所が多数にわたり、また人口が変動することから困難となっている。UN OCHA, *Iraq IDP Crisis Situation Report No. 11, 6 September – 12 September 2014*, 12 September 2014, p. 2, <http://shar.es/1a000z>. (UN OCHA 「イラク国内避難民危機状況報告書—第11号—2014年9月6日～9月12日」2014年9月12日、2頁)

⁸⁴ 「医療機関が現存かつ機能している場所は避難民の流入に圧倒されている。」WHO, *Health Emergency Highlights*, Issue #17, 31 August 2014, <http://shar.es/1a0hdB>. (WHO 「保健非常事態ハイライター第17号」2014年8月31日) クルディスタン地域では、慢性疾患のための薬が不足しており、過去数ヶ月にわたって多数の国内避難民を受け入れている地域の医療機関では医療スタッフの数が十分ではないという報告がある。人道支援に従事する人々は、未完成の建物や空き地に散在して生活する国内避難民へ医療サービスを提供することが難しいと報告している。UN OCHA, *Iraq IDP Crisis Situation Report No. 10, 30 August - 5 September 2014*, 5 September 2014, p. 4, <http://shar.es/11ARZD>. (UN OCHA 「イラク国内避難民危機状況報告書—第10号—2014年8月30日～9月5日」2014年9月5日、4頁) 「イラク南部（ナジャフ、カルバラー、バビロン、カディサヤー（Qadisayah））に向けた8万人を超える国内避難民の移動は、特に人々が伝染性の病気（水痘、下痢、はしか）や非伝染性の病気（高血圧、糖尿病）にかかっている割合がより高いせいで、医療機関へ重圧をかけている。UN OCHA, *Iraq IDP Crisis Situation Report No. 8, 16 August – 22 August 2014*, 22 August 2014, p. 4, <http://shar.es/11YROL>. (UN OCHA 「イラク国内避難民危機状況報告書—第8号—2014年8月16日～8月22日」2014年8月22日、4頁) また、UN OCHA, *Humanitarian Needs Overview*, 26 September 2014, p. 13, <http://bit.ly/1xoOfCD>. (UN OCHA 「人道的ニーズ概要」2014年9月26日、13頁) も参照。

⁸⁵ UN OCHA, *Iraq IDP Crisis Situation Report No. 12, 13 September – 19 September 2014*, 19 September 2014, p. 5, <http://reliefweb.int/sites/reliefweb.int/files/resources/Iraq.pdf>. (UN OCHA 「イラク国内避難民危機状況報告書—第12号—2014年9月13日～9月19日」2014年9月19日、5頁)

⁸⁶ UN OCHA, *Humanitarian Needs Overview*, 26 September 2014, p. 15, <http://bit.ly/1xoOfCD>. (UN OCHA 「人道的ニーズ概要」2014年9月26日、15頁) EU Reporter, *More than 1.6 million internally displaced by Iraq conflict says IOM*, 29 August 2014, <http://www.eureporter.co/world/2014/08/29/more-than-1-6-million-internally-displaced-by-iraq-conflictsays-iom/> (EU レポーター 「IOMによると160万人以上の国内避難民がイラク紛争により、避難を余儀なくされている」2014年8月29日) ACTED, *Child protection needs of children displaced in Ainkawa, Kurdistan Region of Iraq*, 18 August 2014, <http://www.acted.org/en/child-protection-needs-children-displaced-ainkawa-kurdistan-region-iraq>. (ACTED 「イラククルディスタン地域のアインカワ（Ainkawa）において避難を余儀なくされた子どもの保護の必要性」2014年8月18日) Médecins Sans Frontières, *Iraq/Syria: A dramatic increase of displaced people fleeing violence in Sinjar*, 13 August 2014, <http://www.msf.ca/en/article/iraqsyria-dramatic-increase-displaced-peoplefleeing-violence-sinjar>. (国境なき医師団 「イラク・シリア：シンジャールにおける暴力から逃避する避難民の劇的な増加」2014年8月13日)

⁸⁷ REACH, *Vulnerability, Needs and Intentions of Internally Displaced Persons in Northern Iraq. Rapid Assessment Report*, August 2014, <http://shar.es/1mow8i>. (REACH 「イラク北部における国内避難民の脆弱性、ニーズ、意図：迅速評価報告書」2014年8月)

⁸⁸ IOM, *Displacement Tracking Matrix. Report III of Round VI*, October 2014, p. 4, <http://iomiraq.net/file/1270/download?token=aH5gss0>. (IOM 「強制移動追跡マトリックス—第6回の第3報告書」2014年10月20日、4頁)、UN OCHA, *Iraq IDP CRISIS - Situation Report No. 5, 27 July – 1 August 2014*, 1 August 2014, p. 1, <http://reliefweb.int/sites/reliefweb.int/files/resources/OCHA%20Iraq%20Situation%20Report%20no5.pdf>. (UN OCHA 「イラク国内避難民危機状況報告書—第5号—2014年7月27日～8月1日」2014年8月1日、1頁)、Al Jazeera, *Seeking shelter in Iraqi Kurdistan*, 30 March 2014, <http://aje.me/1h8A36d>. (アルジャジーラ 「イラククルディスタン地域でシェルターを求め」2014年3月30日)

⁸⁹ UN OCHA, *Humanitarian Needs Overview*, 26 September 2014, p. 15, <http://bit.ly/1xoOfCD>. UN OCHA 「人道的ニーズ概要」2014年9月26日、15頁)

証明書を所持しない国内避難民は、現地当局（クルディスタン地域において）あるいは難民・移民省（MoDM、中央政府統治地域内において）に登録することができないため、正規に滞在することを阻まれ支援や公共サービスへのアクセスが制限されている⁹⁰。当局が移動の取り締まりを目的に、国内避難民身分証明書を没収しているという報告もある⁹¹。

24. 特にクルディスタン地域では数十万人ものイラク避難民が寛大に受け入れられているものの、紛争の継続や行政区域境界地域におけるアクセスの制限のために、避難民が安全な場所へ到達するのが困難であるとの報告が絶えない⁹²。アクセスの制限には治安上の問題⁹³や受容能力の欠如⁹⁴が大きく関係しているとみられており、制限は増加しつつあると報告されている⁹⁵。アクセスの制限は家族構成⁹⁶、宗教／民族背景⁹⁷、出身地⁹⁸、あるいは行政区域における保証人の必要性⁹⁹と

⁹⁰ UN OCHA, *Iraq Crisis Situation Report No. 15, 4 October – 10 October 2014*, 10 October 2014, p. 5, <http://shar.es/1mGj5P>. (UN OCHA 「イラク国内避難民危機状況報告書—第15号—2014年10月4日～10月10日」2014年10月10日、5頁)

⁹¹ 報告によると、クルドのアサイッシュ（Asayish、公安警察）は、国内避難民の証明書を度々没収し、移動の自由を厳しく制限している。(UNHCR, 2014年10月) UN OCHA, *Iraq IDP Crisis Situation Report No. 14, 26 September – 3 October 2014*, 3 October 2014, p. 6, <http://shar.es/1mowRL>. (UN OCHA 「イラク国内避難民危機状況報告書—第14号—2014年9月26日～10月10日」2014年10月3日、6頁)

⁹² 「多数の国内避難民が適切な身分証明書なしで避難しており、クルディスタンとイラクの境界およびその近辺の行政区域内の係争地域にあるチェックポイントに駐在するペシメルガは、移動の自由をかなり制限している。」ACAPS, *Briefing Note: Humanitarian Implications of Violence in Northern and Central Iraq*, 4 September 2014, <http://shar.es/11j9od>. (ACAPS 「ブリーフィング・ノート：イラク北部および中央部における暴力の人道の意味」2014年9月4日)

⁹³ 例えば、官僚的なかつ安全上の手続を理由に移動制限が国内避難民に課されたことにより、クルディスタン地域へ入ることはいくつかの集団にとってより困難となっている。UN OCHA, *Iraq IDP Crisis Situation Report No. 13, 20 September – 26 September 2014*, 26 September 2014, p.2, <http://shar.es/1moJUD>. (UN OCHA 「イラク国内避難民危機状況報告書—第13号—2014年9月20日～9月26日」2014年9月26日、2頁)

⁹⁴ 例えばカルバラでスポンサーのいない国内避難民は、地方当局が人数の増加に対応できないことから他の行政区域に移されたという報告がある。UN OCHA, *Iraq IDP Crisis Situation Report No. 8, 16 August – 22 August 2014*, 22 August 2014, p. 4, <http://shar.es/11YROL>. (UN OCHA 「イラク国内避難民危機状況報告書—第8号—2014年8月16日～8月22日」2014年8月22日、4頁) 2014年10月中旬にヒート（アンバール）から新しく避難を余儀なくされた人々は、隣のカルバラ行政区域に入ることを妨害されているという報告がある。UN OCHA, *Iraq IDP Crisis Situation Report No. 16, 11 - 17 October 2014*, 17 October 2014, p. 2, <http://shar.es/1mQFfi>. (UN OCHA 「イラク国内避難民危機状況報告書—第16号—2014年10月11日～17日」2014年10月17日、2頁)

⁹⁵ UNHCR, 2014年10月

⁹⁶ 例えばUNAMIによると、男性の親類に同伴されていない女性と少女によるクルディスタン地域へのアクセスが制限されている。UNAMI / OHCHR, *Report on the Protection of Civilians in the Non International Armed Conflict in Iraq: 5 June – 5 July 2014*, 18 July 2014, p. 21, <http://www.refworld.org/docid/53ce0f0d4.htm>. (UNAMI/OHCHR 「イラクの非国際武力紛争における市民の保護に関する報告書：2014年6月5日～7月5日」2014年7月18日、21頁) 報告によると、バスラ行政区域内の境界にあるチェックポイントでは、独身男性が入ることを拒否されている。ACAPS, *Briefing Note: Humanitarian Implications of Violence in Northern and Central Iraq - 24 July 2014*, 24 July 2014, p. 4, <http://shar.es/11jsZa>. (ACAPS 「ブリーフィング・ノート：イラク北部および中央部における暴力の人道の意味—2014年7月」2014年7月24日、4頁)

⁹⁷ 一般的に少数派の集団に属する人々は、クルディスタン地域へ入ることを許可されているが、スンニ派およびシーア派のアラブ人とトルクメン人は、入ることを妨害されていると言われている。例えば、ジャローラ（Jalawla）やディヤラ行政区域のサーディヤ（Sa'adiya）から避難しているスンニ派アラブ人の国内避難民は、彼らがISに同情的であることが懸念され、それにより安全上の脅威とみなされていることから、クルディスタン地域に入ることを妨害されているという報告がある。彼らはクルディスタン地域との境界に近い係争中のクルド人により支配されている地域にあるキャンプに滞在しており、移動の自由が制限されている。Christian Science Monitor, *Aid to Sunni Arabs in Kurdistan comes with a side of suspicion*, 28 August 2014, <http://bit.ly/WsKSx7>. (クリスチャン・サイエンス・モニター「クルディスタンのスンニ派アラブ人への支援に疑いの目が向けられる」2014年8月28日) また、New York Times, *Back and Forth, Wearily, Across the ISIS Border*, 20 September 2014, <http://nyti.ms/1rakK5i>. (ニューヨーク・タイムズ紙「ISISとの境界線を疲労した状態で行き来する」2014年9月20日)、Public Radio International, *Kurds in northern Iraq now suspect their Arab neighbors of siding with ISIS*, 1 September 2014, <http://bit.ly/ZQYzbH>. (パブリック・ラジオ・インターナショナル「イラク北部のクルド人がアラブ人の隣人がISISの側についていると疑いの目を向ける」2014年9月1日)、Associated Press, *Displaced Iraqis trade war for hardship in a Shiite holy city far from home*, 14 August 2014, <http://fxn.ws/1sZCwKb>. (AP通信「避難を強いられたイラク人が家から遠く離れたシーア派の聖なる都市で戦争と引き換えに苦難を受ける」2014年8月14日)、ACAPS, *Briefing Note: Humanitarian Implications of Violence in Northern and Central Iraq - 24 July 2014*, 24 July 2014, p. 1, <http://shar.es/11jsZa>. (ACAPS 「ブリーフィング・ノート：イラク北部および中央部における暴力の人道の意味—2014年7月」2014年7月24日、1頁)、IRIN, *Selective treatment for IDPs in Kurdistan*, 16 July 2014, <http://www.refworld.org/docid/53ce19aa4.html>. (IRIN 「クルディスタンにおける国内避難民の選択的扱い」2014年7月16日)も参照。

⁹⁸ キルクークからエルビル行政区域に入ろうとする人々へのアクセスが制限されていると報告されている。UN OCHA, *Iraq IDP Crisis Situation Report No.11, 6 September – 12 September 2014*, 12 September 2014, p. 1, <http://shar.es/1a000z>. (UN OCHA 「イラク国内避難民危機状況報告書—第11号—2014年9月6日～9月12日」2014年9月12日、1頁)

⁹⁹ 例えばカーディシーヤ（Qadisiya）行政区域に移住を求める国内避難民は、親類のスポンサーが確認された後のみチェックポイント通過を許可されると報告されている。UN OCHA, *Iraq IDP Crisis Situation Report No. 10, 30 August – 5 September 2014*, 5 September 2014, p. 4, <http://shar.es/11ARZD>. (UN OCHA 「イラク国内避難民危機状況報告書—第10号—2014年8月30日～9月5日」2014年9月5日、4頁) ク

いった一定の基準に関連している。(行政区域に) 入る場所にあるチェックポイントで適用されている基準は必ずしも明確に定められていない、あるいは実施が変遷する、または突然変更されることもある。幾つかの地域では、他の行政区域から移住する者が中に入ることを禁止されたといった報告もある¹⁰⁰。アクセスが許可されたとしても、国内避難民が地方当局に登録するには追加の要件があるかもしれない¹⁰¹。イラク南部では医療、教育、現金給付などのサービスへのアクセスを求め、自分たちを登録してくれる地方当局を探して一つの行政区域から次の行政区域へと国内避難民が移動することも報告されている¹⁰²。さらに国内避難民の到来により、コミュニティにおける民族・宗派間の¹⁰³緊張状態が高まり、国内避難民の中には不安感や差別されているといった感情を抱く者もいると報告されている¹⁰⁴。

25. 国内避難民の移動の自由は不安定な状況と継続する軍事行動により、さらに制限されていると言われている¹⁰⁵。さらに武装集団は国の中央部・北部、バグダッド、南部を結ぶルートへのアクセスを支配しているとも言われている¹⁰⁶。有効な証書を持たない国内避難民はチェックポイントを通過する際困難に直面するかもしれない¹⁰⁷。

26. 近い将来に大規模な帰還が起きることは予想されていないが、ごく少数の国内避難民がク

ルディスタン地域に移住を求めるスンニ派とシーア派のアラブ人やトルクメン人、およびシャバク人はスポンサーを必要とする。スポンサーはクルディスタン地域に居住するクルド人でなければならない。これらのコミュニティ出身の国内避難民は、スポンサーがないと地域に入ること(チェックポイントで)拒否される。UN OCHA, *Iraq IDP Crisis Situation Report No. 13, 20 September – 26 September 2014*, 26 September 2014, p. 5, <http://shar.es/1moJUD>. (UN OCHA「イラク国内避難民危機状況報告書—第13号—2014年9月20日～9月26日」2014年9月26日、5頁) UNHCRの情報によると、クルド人のスポンサーは同情疲労やスンニ派アラブ人に対する憤慨が増長していく中で、特にスンニ派アラブ人の引受人になることをますます躊躇するようになっていくかもしれない。

¹⁰⁰ 例えばキルクークでは、キルクークに特定された身分証明カードを所持しない人々へのアクセスを与えないせいで、9月初旬、中旬から一人も新しい国内避難民が到着していない。報告によるとハナキーン(Khanakeen、ディヤラ、クルド軍の支配下にある)では、住居の欠如と安全上の懸念を理由に地方当局が、国内避難民の流入を制限している。UN OCHA, *Iraq IDP Crisis Situation Report No. 10, 30 August – 5 September 2014*, 5 September 2014, p. 4, <http://shar.es/11ARZD>. (UN OCHA「イラク国内避難民危機状況報告書—第10号—2014年8月30日～9月5日」2014年9月5日、4頁) また、IOM, *Displacement Tracking Matrix, Report III of Round VI, October 2014*, p. 5, <http://iomiraq.net/file/1270/download?token=aH5gss0>. (IOM「強制移動追跡マトリックス—第6回の第3報告書」2014年10月、5頁)

¹⁰¹ 地域へ入ることが許可されると、クルディスタン地域出身ではない人々は、同地域に残留するための15日間有効の「滞在許可」を受理する。この期間内に彼らは一次在留許可を申請することが要請され、そのためにはスポンサーと地方公安警察(アサイッシュ)の許可が必要とされ、さらに健康診断を受けなければならない。これらの規則は厳しく実行されており、安全上の理由で拒否されたケースをUNHCRが確認している。在留許可は一定の期間(大概7～10日毎)で更新されなければならない。

¹⁰² REACH, *Displacement of Shabak & Turkmen Shi'a Minorities from Tal Afar & Ninewa Plains, June – 18 August 2014*, 18 August 2014, p. 3, <http://shar.es/11jici>. (REACH「タル・アフアールとニナワ平原からのシャバク人とトルクメン人少数派シーア派の強制移動、2014年6月～8月18日」2014年8月18日)

¹⁰³ 「民族・宗派の分割は重大であり、異なった人口集団の間において社会的緊張が増幅する危険性をはらんでいる。ISIL や関係組織により引き起こされた最初の強制移動に続いて、二度目(あるいは、三度目、四度目)の強制移動が、最悪の場合受入コミュニティとの間の暴力的な対立の結果、最善の場合でも(受入コミュニティが)歓迎の態度を示さないことにより起きるかもしれない。イラクにおける異なる民族集団の間の歴史的な緊張状態に対してこれまで取り組みがなされてきたわけではないため、おそらくそれがコミュニティ間、特に新しい避難民と受入コミュニティの間の緊張状態を高める最も重要な根本的要素となり得る。エルビル、スレイマニヤ行政区域といったクルディスタン地域やイラク南部および中央部において、国内避難民の到着に対して抗議運動が起きている。また、当局からも受入コミュニティの住民が持つ懸念に対して何らかの取り組みがされない限り、国内避難民は強制的に『移動される』であろうといった声明が出されている。」UN OCHA, *Humanitarian Needs Overview*, 26 September 2014, pp. 13-14, <http://bit.ly/1xoOfCD>. (UN OCHA「人道的ニーズ概要」2014年9月26日、13～14頁)

¹⁰⁴ 例えばアンバールからの国内避難民は「アンバールに対する敵意」を理由にバグダッドは危険であると感じており、「テロリスト」と判別され、逮捕や嫌がらせを受けることを恐れて当局で登録しないことを選択した者が、未知数ではあるものの存在するといった報告がある。(UNHCR、2014年10月) IRIN, *Anbar IDPs in Baghdad fear for their safety*, 13 May 2014, <http://www.refworld.org/docid/5379d6464.html>. (IRIN「バグダッドにおいてアンバール出身の国内避難民が身の危険を感じている」2014年5月13日)も参照。Associated Press, *Iraqi Arabs claim persecution by Kurds*, 30 September 2014, <http://yhoo.it/1vTKmUP>. (AP通信「イラクのアラブ人がクルド人により迫害されていると主張」2014年9月30日)

¹⁰⁵ UN OCHA, *Iraq IDP Crisis Situation Report No. 14, 26 September – 3 October 2014*, 3 October 2014, p. 2, <http://shar.es/1mowRL>. (UN OCHA「イラク国内避難民危機状況報告書—第14号—2014年9月26日～10月3日」2014年10月3日、2頁)

¹⁰⁶ IRIN, *Selective treatment for IDPs in Kurdistan*, 16 July 2014, <http://www.refworld.org/docid/53ce19aa4.html>. (IRIN「クルディスタンにおける国内避難民の選択的扱い」2014年7月16日)

¹⁰⁷ ACAPS, *Briefing Note: Humanitarian Implications of Violence in Northern and Central Iraq*, 4 September 2014, p. 4, <http://shar.es/11zUYn>. (ACAPS「ブリーフィング・ノート：イラク北部および中央部における暴力の人道的意味」2014年9月4日、4頁)

ルド軍あるいはイラク治安部隊が IS から支配を奪い返した後、出身地域に戻り始めていることを示唆する報告もある。これらの地域における継続する不安定な状況、サービスの欠如、またインフラが機能していないことなどのために、帰還が妨げられていると報じられている¹⁰⁸。IS が退却時に都市部や空地に地雷や仕掛け爆弾を埋設していったという報告もあり、帰還した人々を危険な状況においやっている¹⁰⁹。さらに、スンニ派のアラブ人は民族・宗教が混在する地域への帰還を阻止されたり、IS の進攻への実際のまたは認識された (perceived) 支持を理由に報復の対象となる危険があることを証明する報告もある¹¹⁰。

帰還に関する UNHCR の見解

27. イラクの状況が非常に流動的で不安定であり、国内のすべての地域が現在進行中の危機の影響を、直接的あるいは間接的に受けている¹¹¹という報告があることから、UNHCR は治安と人権状況が明白に改善されるまでは、イラク出身の人々¹¹²を強制的に帰還させないよう各国に要請する。現在の状況下では、イラクから避難している人々の多くが 1951 年の難民条約に規定される難民としての地位に該当する可能性がある¹¹³。イラク出身の人々の個々の事案を判断する際、難民条約が定める認定要件が当てはまらない場合は関係する地域的文書¹¹⁴が規定す

¹⁰⁸ Shelter Cluster, *Rapid Assessment: Area of Origin Assessment Report*, October 2014, p. 4, <http://shar.es/1moZLp>. (シェルター・クラスター「迅速評価：出身地域評価報告書」2014年10月、4頁)、UN OCHA, *Iraq IDP Crisis Situation Report No. 13, 20 September – 26 September 2014*, 26 September 2014, p. 5, <http://shar.es/1moJUD>. (UN OCHA「イラク国内避難民危機状況報告書—第13号—2014年9月20日～9月26日」2014年9月26日、5頁)、Associated Press, *ISIS battles force Iraq residents to choose displacement*, 13 September 2014, <http://fxn.ws/1quXVLY>. (AP通信「ISISによる戦闘の結果イラク住民が移動を選択せざるを得ない状況にいる」2014年9月13日)、ACAPS, *Briefing Note: Humanitarian Implications of Violence in Northern and Central Iraq*, 4 September 2014, pp. 1, 4, <http://shar.es/1lzUYn>. (ACAPS「ブリーフィング・ノート：イラク北部および中央部における暴力の人道の意味」2014年9月4日、1～4頁)

¹⁰⁹ UN OCHA, *Humanitarian Needs Overview*, 26 September 2014, pp. 15, 25, 26, <http://bit.ly/1xoOfCD>. (UN OCHA「人道的ニーズ概要」2014年9月26日、15、25、26頁)、ACAPS, *Briefing Note: Humanitarian Implications of Violence in Northern and Central Iraq*, 4 September 2014, pp. 1, 4, <http://shar.es/1lzUYn>. (ACAPS「ブリーフィング・ノート：イラク北部および中央部における暴力の人道の意味」2014年9月4日、1、4頁)

¹¹⁰ Reuters, *Iraq's Shi'ite militia, Kurds use U.S. air strikes to further own agendas*, 9 September 2014, <http://reut.rs/1xBwTX0>. (ロイター通信「イラクのシーア派民兵、クルド人が自分たちのアジェンダを追及するためにアメリカの空爆を利用」2014年9月9日)、Los Angeles Times, *In Iraq, some Kurds accuse Arab neighbors of turning against them*, 8 September 2014, <http://fw.to/StKTPBQ>. (LAタイムズ紙「イラクにおいてアラブ人の隣人が敵意を持っているとクルド人が非難」2014年9月8日)、Washington Post, *Alliance that captured besieged Iraqi town falls apart*, 5 September 2014, <http://wapo.st/1rJv5q7>. (ワシントンポスト紙「包囲されたイラクの町を攻略した同盟軍が崩壊」2014年9月5日)、Niqash, *Mistrust Thy Neighbour? Extremists Split Social Fabric In Northern Iraq*, 4 September 2014, <http://www.niqash.org/articles/?id=3529>. (ニカシュ通信「隣人に不信を抱く？過激派がイラク北部で社会的構造を分裂させる」2014年9月4日)、ACAPS, *Briefing Note: Humanitarian Implications of Violence in Northern and Central Iraq*, 4 September 2014, pp. 1, 4, <http://shar.es/1lzUYn>. (ACAPS「ブリーフィング・ノート：イラク北部および中央部における暴力の人道の意味」2014年9月4日、1、4頁) Los Angeles Times, *Iraqi Kurds, buoyed by U.S. airstrikes, eye more Sunni Arab towns*, 3 September 2014, <http://fw.to/aBwZlpY>. (LAタイムズ紙「イラクのクルド人、アメリカの空爆に支えられ、より多くのスンニ派アラブの町を視野に」2014年9月3日)、Washington Post, *Fighting continues in Iraq after Shiite town liberated*, 1 September 2014, <http://wapo.st/1w10iW0>. (ワシントンポスト紙「シーア派の町が解放された後もイラクにおいて戦闘継続」2014年9月1日)、Washington Post, *Ethnic tensions feed battles in northern Iraq*, 28 August 2014, <http://wapo.st/1pMPc6l>. (ワシントンポスト紙「民族間の緊張状態がイラク北部の戦闘に油を注ぐ」2014年8月28日)、Time, *The Rise of ISIS Sows Mistrust Between Kurds and Sunni Arabs*, 26 August 2014, <http://ti.me/XPS4F8>. (タイム誌「ISISの興起によりクルド人とスンニ派アラブ人の間の不信感という種が蒔かれる」2014年8月26日)、Wall Street Journal, *Insurgency deepens Iraqi ethnic, sectarian divides*, 25 August 2014, <http://on.wsj.com/1qjZYAO>. (ウォールストリートジャーナル紙「反乱によりイラクの民族的、宗教的分裂がすすむ」2014年8月25日)、Azzaman, *Kurdish forces torch Arab homes and refuse return of those displaced to their areas*, 18 August 2014, <http://www.azzaman.com/english/?p=1482>. (アッザマン紙「クルド軍がアラブ人の家を焼き払い、地域に避難民が帰還することを拒否」2014年8月18日)

¹¹¹ 国中で暴力的な攻撃が行われている (例えば UNAMI の報告書やイラク・ボディール・カウントを参照)。直近の紛争拡大による影響を直接被っていない行政区域は、多数の国内避難民の流入や公共サービス、インフラへの重圧に関連した非直接的な影響を受けている。上記 15、19～21 段落を参照。

¹¹² 「イラク出身の人々」という表現は、イラク国民とイラクからのパレスチナ人を含むイラクに常居所を有する者を意味する。

¹¹³ イラクから避難するあるいは避難した人々のプロフィールによると、彼らは 1951 年難民の地位に関する条約および 1967 年難民の地位に関する議定書の枠組に当てはまる可能性が高い。

¹¹⁴ イラク出身の人々がどこで国際保護を求めるかにより、地域的難民保護の枠組が適用される。Convention Governing the Specific Aspects of Refugee Problems in Africa ("OAU Convention"), 10 September 1969, 1001 U.N.T.S. 45, <http://www.unhcr.org/refworld/docid/3ae6b36018.html>. (「アフリカにおける難民問題の特殊な側面を規定する条約 (『OAU条約』)」1969年9月10日、1001 U.N.T.S. 45)、Cartagena Declaration on Refugees, Colloquium on the International Protection of Refugees in Central America, Mexico and Panama, 22 November 1984, <http://www.refworld.org/docid/3ae6b36c.html>. (中央アメリカ、メキシコ、パナマにおける難民の

るより広義の難民の要件、あるいは補完的保護¹¹⁵が適用されるであろう。大量の新しい国内避難民の発生と大規模な人道危機、派閥間の高まる緊張状態、特にイラクのクルディスタン地域へのアクセスの制限が報告されている現在の状況の下、UNHCRは、各国がイラク出身の人々に対して国内避難または移住の可能性を理由に国際保護を付与しないことは原則として適切ではないと考える¹¹⁶。個々の案件のプロフィールによっては、除外条項の適用を検討する必要性があるかもしれない¹¹⁷。

国際保護に関する会議難民に関するカルタヘナ宣言、1984年11月22日）OAU条約と異なりカルタヘナ宣言は、法的拘束力のある文書ではない。国内法に取り込まれることによつてのみ、同規定が法的拘束力を得る。

¹¹⁵ 欧州連合加盟国において保護を求めるイラクからの難民認定申請者のうち難民ではないと認定された者は、EU資格指令の補完的保護を必要とする人々の枠に当てはまる可能性が高い。European Union, *Directive 2011/95/EU of the European Parliament and of the Council on standards for the qualification of third-country nationals or stateless persons as beneficiaries of international protection, for a uniform status for refugees or for persons eligible for subsidiary protection, and for the content of the protection granted (recast) ("Qualification Directive")*, 13 December 2011, <http://www.refworld.org/docid/4f06fa5e2.html>. (EU「第三国国民または無国籍者の国際的保護の受益者としての資格、難民または補完的保護を受ける資格のある者の統一した地位、および付与される保護内容についての基準に関する欧州議会・欧州理事会指令2011/95/EU(改)(資格指令)」2011年12月13日)

¹¹⁶ 国内避難または移住の選択可能性の適用およびその妥当性と合理性の基準についての詳細なガイダンスとしては、UNHCR, *Guidelines on International Protection No. 4: "Internal Flight or Relocation Alternative" Within the Context of Article 1A(2) of the 1951 Convention and/or 1967 Protocol Relating to the Status of Refugees*, 23 July 2003, HCR/GIP/03/04, <http://www.unhcr.org/refworld/docid/3f2791a44.html>. (UNHCR「国際保護に関するガイドライン第4号：1951年難民の地位に関する条約・1967年議定書第1条A(2)の文脈における「国内避難・移住の選択可能性」2003年7月23日、HCR/GIP/03/04」)を参照。

¹¹⁷ UNHCR, *Guidelines on International Protection No. 5: Application of the Exclusion Clauses: Article 1F of the 1951 Convention relating to the Status of Refugees*, 4 September 2003, HCR/GIP/03/05, <http://www.unhcr.org/refworld/docid/3f5857684.html>. (UNHCR「国際保護に関するガイドライン第5号：除外条項の適用：1951年難民の地位に関する条約第1条F」2003年9月4日、HCR/GIP/03/05)